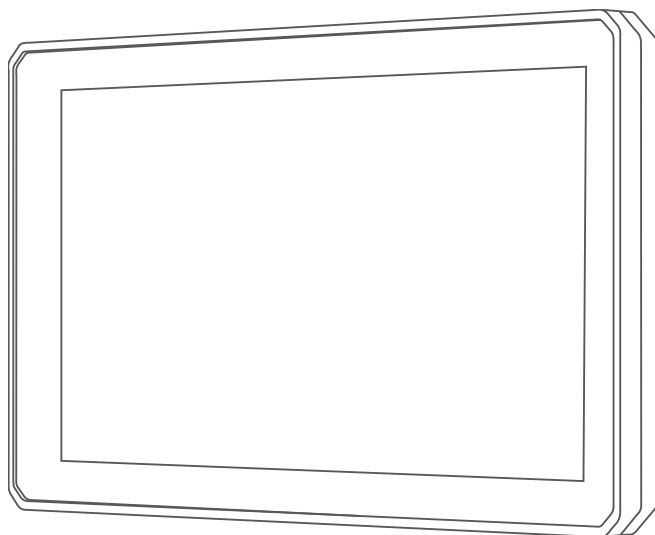


GARMIN®



ZŪMO® XT

操作マニュアル

© 2021 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®、Garmin ロゴ、zūmo®、inReach®、および TracBack®は、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。BaseCamp™、Garmin Adventurous Routing™、Garmin Drive™、Garmin Explore™、Garmin Express™、Garmin PowerSwitch™、および myTrends™ は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™は Google LLC の商標です。Apple®および Mac®は、米国およびその他の国における Apple Inc.の商標です。BLUETOOTH®ワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、Garmin 社はライセンスに基づきこの名前を使用しています。Foursquare®は、Foursquare Labs, Inc.の米国およびその他の国における商標です。HISTORY®および H ロゴは、A+E Networks の商標であり、米国およびその他の国で保護されています。All rights reserved.許可を得て使用。microSD®および microSD ロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。Tripadvisor®は TripAdvisor LLC の登録商標です。Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Wi-Fi®は Wi-Fi Alliance の登録商標です。その他の商標および商標名はそれぞれの所有者の所有物です。

目次

はじめに	1
デバイスの概要	1
デバイスの電源をオンまたはオフにする	1
GPS 信号を捕捉する	2
ステータスバーアイコン	2
オンスクリーンボタンを使用する	2
音量を調整する	3
オーディオミキサーを使用する	3
画面の輝度を調整する	3
交通モード	3
交通モードを選択する	3
ラージボタンキーボードの使用	3
取り付け	4
自動二輪へのデバイスの取り付け	4
電源付きモーターサイクルマウント	4
ハンドルバーベースの取り付け	4
自動二輪マウントへ電源ケーブルを接続する	6
自動二輪マウントにベースプレートを取り付ける	7
ハンドルバーベースにベースプレートを取り付ける	7
デバイスをモーターサイクルマウントに取り付ける	8
デバイスを自動二輪マウントから取り外す	8
自動車にデバイスを取り付ける	9
運転者への注意喚起の機能とアラート	10
運転者アラートを有効または無効にする	10
赤信号カメラとスピードカメラ	10
事故検出と通知	11
事故連絡先の設定	11
事故通知のキャンセル	11
事故通知の無効化	12
inReach リモート	12
inReach デバイスの接続	12
inReach メッセージの送信	12
SOS	12

ヘルメット着用に関する通知文の表示	13
ヘルメットに関する法律を検索する ..	13
目的地へのナビゲーション	13
ルート	13
ナビゲーションを開始する	13
Garmin Adventurous Routing™ を使用したルートの選択	14
ルート探索方法を変更する	14
地図を使用してナビゲーションを開始する	14
帰宅する	14
地図上のルート	15
アクティブ車線案内	16
方向転換と方向指示を表示する	16
地図にルート全体を表示する	16
目的地に到着する	16
目的地の近くの駐車場	17
アクティブルートを変更する	17
ルートに場所を追加する	17
ルートを形成する	17
迂回路を検索する	18
ナビゲーションを停止する	18
遅延、有料道路、およびエリアを回避する	18
ルート上の交通遅延を回避する	18
有料道路を回避する	18
有料ステッカーを回避する	18
道路の回避機能	19
カスタム回避	19
直行ルートをナビゲーションする	19
燃料の記録	19
燃料計を有効にする	20
ガソリン残量アラームの設定	20
燃料タンクの燃費をリセットする ..	20
燃料給油案内を有効にする	20
位置の検索と保存を行う	20
検索バーを使用して位置を検索する ..	21
ジャンル別施設	21
カテゴリーを入力して位置を検索する	21
場所内のジャンル別施設にナビゲーションする	21
Garmin Explore™ のジャンル別施設の表示	22

Garmin Explore アカウントデータの同期	22
場所検索の結果	22
地図上の場所検索結果	23
検索エリアを変更する	24
駐車場	24
現在の場所近くの駐車場を検索する	24
指定した場所近くの駐車場を検索する	24
駐車場の色分けと記号について	24
検索ツール	25
住所を検索する	25
交差点を検索する	25
座標を使用して位置を検索する	25
HISTORY® ジャンル別施設 (POI) を検索する	25
Foursquare	25
Foursquare アカウントに接続する	26
Foursquare のジャンル別施設を検索する	26
Foursquare の場所の詳細を表示する	26
Foursquare によるチェックイン	26
Tripadvisor®	26
Tripadvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する	26
最近検索した位置を表示する	26
最近検索した場所のリストを消去する	27
現在地情報を表示する	27
緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する	27
現在地への道順を表示する	27
ショートカットを追加する	27
ショートカットを削除する	27
位置を保存する	27
位置を保存する	27
地図を使用して位置を保存する	28
現在地を保存する	28
保存した位置を編集する	28
保存した位置を削除する	28

地図を使用する 29

地図ツール	29
地図ツールを表示する	29
この先	29
この先の場所を表示する	30

[この先] カテゴリーをカスタマイズする	30
次の都市まで	30
この先の都市や出入口サービスの表示	30
トリップ情報	30
地図からトリップデータを表示する	30
トリップ情報ページを表示する	30
トリップ情報をリセットする	31
進行方向の交通事故を表示する	31
地図上に交通渋滞情報を表示する	31
交通事故情報を検索する	31
地図をカスタマイズする	31
地図レイヤーをカスタマイズする	31
地図データフィールドを変更する	31
地図アイコンを変更する	32
地図表示方法を変更する	32

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能 32

Bluetooth 機能のステータスアイコン	33
スマートフォンとヘッドセットのペアリング	33
スマート通知	33
通知を受信する	34
通知のリストを表示する	34
ハンズフリー通話	35
電話をかける	35
音声ダイヤルを使用して電話をかける	35
通話中オプションを使用する	35
Apple®デバイス用に Bluetooth 機能をセットアップする	35
Bluetooth 機能を無効にする (iPhone®)	36
Android™ が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能をセットアップする	36
Bluetooth 機能を無効にする (Android)	36
Bluetooth デバイスの取り外し	36
ペアリングした電話を削除する	36

[トラフィック] 36

スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する	37
----------------------------------	----

トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する	37
トラフィックレシーバーサブスクリプション	37
地図上に交通渋滞情報を表示する	37
交通事故情報を検索する	38

アプリケーションを使用する 38

グループライド	38
グループライドを開始する	38
グループライドへの参加	38
最近のグループライドに再参加する	38
グループライドに運転者を追加する	38
メッセージの配信	39
位置情報の配信	39
グループライド通知の表示	39
グループライドの終了	39
グループライド設定	39
ラジオ	40
プリセットの選択	40
無線チャンネルを選択する	40
スケルチの調整	40
カスタム無線プリセットの追加	40
了解トーンを選択	40
無線機をオフにする	40
ヘッドセットでプッシュトゥークを有効にする	41
音声の送信	41
無線の音量の調整	41
無線機の設定	41
Garmin PowerSwitch™ アプリ	42
電源スイッチの有効化	42
すべてのスイッチをオフにする	42
ボタンのカスタマイズ	43
スイッチを制御入力へ割り当てる	43
カスタムレイアウトの追加	43
ルーチン	44
デバイスのマニュアルの表示	45
メディアプレイヤー	45
マップにミュージックプレイヤーツールを追加する	45
メディアソースを変更する	46
BirdsEye イメージ	46
BirdsEye イメージのダウンロード	46
トリッププランナー	46

トリップを計画する	47
トリップの場所を編集および並べ替える	47
トリップの経路にあるアトラクションの発見	47
トリップのルート探索オプションを変更する	47
保存されているトリップをナビゲーションする	48
ルートを共有する	48
トラック	48
トラックの記録	48
TracBack®	48
最近のトラックを辿る	48
最近のトラックをトリップとして保存する	48
サービス履歴をログに記録する	49
サービスカテゴリを追加する	49
天気予報を表示する	49
別の都市周辺の天気を表示する	49
気象観測レーダーを表示する	49
気象警報を表示する	49
道路状況を確認する	50
往復のルートを作成する	50
photoLive トラフィックカメラ	50
photoLive トラフィックカメラの表示と保存	51
地図上に photoLive トラフィックカメラを表示する	51
前のルートと目的地を表示する	51

zūmo 設定 51

地図および車両設定	51
地図を有効にする	51
ナビゲーション設定	52
計算モードの設定	52
シミュレートされた場所を設定する	52
Bluetooth 設定	52
Wi-Fi 設定	52
運転者支援の設定	53
ディスプレイ設定	53
トラフィック設定	53
単位および時間設定	53
時間を設定する	53
言語およびキーボード設定	54
デバイスおよびプライバシー設定	54
設定を初期化する	54

デバイス情報.....	54	付録.....	61
E ラベルの規制およびコンプライアンス		Garmin PowerSwitch.....	61
情報の表示.....	54	取り付けに関する注意事項.....	61
仕様.....	55	デバイスの取り付け.....	62
デバイスを充電する.....	55	前面カバーを開く.....	63
デバイスのメンテナンス.....	55	アクセサリーの接続.....	64
Garmin サポートセンター.....	55	制御入力の接続.....	64
地図やソフトウェアの更新.....	55	デバイスを車両電源に接続する.....	65
Wi-Fi ネットワークへの接続.....	56	Garmin ナビゲーションデバイスとの	
Wi-Fi ネットワークの使用による地図		ペアリング.....	65
とソフトウェアの更新.....	56	Garmin PowerSwitch 仕様.....	66
製品の更新.....	57	自分の Garmin PowerSwitch が接続し	
デバイスのお手入れ.....	58	たままになりません.....	66
外側ケースのクリーニング.....	58	アクセサリに電力が供給されていま	
タッチスクリーンのクリーニング.....	58	せん.....	66
盗難防止.....	58	ワイヤレスカメラ.....	66
デバイスを再起動する.....	58	カメラと Garmin ナビゲーションデバ	
デバイス、マウント、吸着カップを取り		イスをペアリングする.....	67
外す.....	58	ワイヤレスカメラの表示.....	67
マウントからデバイスを取り外す.....	58	地図およびデータ用のメモリーカードを	
吸着カップからマウントを取り外		挿入する.....	69
す.....	59	データ管理.....	69
フロントガラスから吸着カップを取り		メモリーカードについて.....	69
外す.....	59	デバイスをコンピュータに接続す	
車両電源ケーブルのヒューズを交換す		る.....	69
る.....	59	コンピュータから GPX ファイルを転	
トラブルシューティング.....	59	送する.....	70
吸盤がフロントガラスに取り付けられな		コンピュータからデータを転送す	
い.....	59	る.....	70
デバイスで衛星信号を受信できない.....	59	USB ケーブルを取り外す.....	70
充電しても電池の電力が長持ちしな		Garmin Explore への BaseCamp™ デー	
い.....	60	タの追加.....	70
デバイスから緊急連絡先に連絡できませ		GPS 信号ステータスを表示する.....	71
ん.....	60	追加の地図を購入する.....	71
デバイスがスマートフォンに接続されま			
せん.....	60		
使用しているデバイスが、コンピュータ			
のリムーバブルデバイスとして表示され			
ません.....	60		
使用しているデバイスが、コンピュータ			
のポータブルデバイスとして表示されま			
せん.....	61		
使用しているデバイスは、コンピュータ			
のポータブルデバイス、リムーバブルド			
ライブ、ボリュームのいずれとしても表			
示されません.....	61		

はじめに

⚠ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

- 1 Wi-Fi®ネットワーク (Wi-Fi ネットワークへの接続, 56 ページ)に接続します (オプション)。
- 2 Bluetooth®スマートフォンとヘッドセットをペアリングします (スマートフォンとヘッドセットのペアリング, 33 ページ) (オプション)。
- 3 デバイスの地図とソフトウェアを更新します (製品の更新, 57 ページ)。
- 4 GPS 信号を捕捉します (GPS 信号を捕捉する, 2 ページ)。
- 5 デバイスを取り付けて、電源に接続します。
- 6 画面の輝度を調整します (画面の輝度を調整する, 3 ページ)。
- 7 目的地までナビゲーションします (ナビゲーションを開始する, 13 ページ)。

デバイスの概要



①	電源キー
②	microSD® メモリカードスロット
③	USB 電源およびデータポート


デバイスの電源をオンまたはオフにする

- デバイスの電源をオンにするには、電源ボタンを押すか、デバイスを電源に接続します。
- デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源ボタンを押します。
省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。
ヒント： バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。
- デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源ボタンを押し続け、**オフ**を選択します。
5 秒後にメッセージが表示されます。メッセージが表示される前に電源ボタンを離すと、デバイスは省電力モードに移行します。

GPS 信号を捕捉する











ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- 1 デバイスの電源をオンにします。
- 2 デバイスが衛星の位置を受信するまで待ちます。
- 3 必要に応じて、高層ビルや樹木から離れた、上空の開けた場所に移動します。

ステータスバーの  は衛星信号の強度を表しています。バーが少なくとも半分あれば、ナビゲーションする準備ができます。








ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。アイコンを選択すると、設定変更や詳細情報の表示ができます。


	GPS 信号ステータス GPS の精度と受信した衛星情報を表示し続けます (GPS 信号ステータスを表示する, 71 ページ)。
	Bluetooth テクノロジーのステータス Bluetooth の設定を表示するときに選択します (Bluetooth 設定, 52 ページ)。
	Wi-fi 信号強度 Wi-fi 設定を変更するときに選択します (Wi-Fi 設定, 52 ページ)。
	ハンズフリー通話に接続済み 電話をかけるときに選択します (ハンズフリー通話, 35 ページ)。
	アクティブ使用モード。選択して使用モードを変更します。
	現在の時刻 時刻を設定するときに選択します (時間を設定する, 53 ページ)。
	バッテリー充電レベル
	Garmin Drive™ アプリの接続ステータス (スマートフォンとヘッドセットのペアリング, 33 ページ)。
	温度 天気予報を表示するときに選択します (天気予報を表示する, 49 ページ)。
	燃料の状態 燃料計の情報を表示するときに選択します (燃料の記録, 19 ページ)。

オンスクリーンボタンを使用する

オンスクリーンボタンを使用して、デバイス上のページ、メニュー、メニューオプションを操作できます。

-  を選択すると、前のメニュー画面に戻ります。
-  を押し続けるとすばやくメインメニューに戻ることができます。
-  または  を選択すると、リストやメニューをスクロールします。
-  または  を押し続けるとスクロール速度が速くなります。
-  を選択すると、現在の画面に対応するオプションのコンテキストベースのメニューが表示されます。

音量を調整する

- 1 音量を選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ スライダーバーを使用して、音量を調整します。
 - ・ デバイスをミュート（消音）にするには、を選択します。
 - ・ チェックボックスを選択して、詳細なサウンドオプションを有効または無効にします。

オーディオミキサーを使用する

オーディオミキサーを使用して、ナビゲーションプロンプトや通話など、さまざまなタイプの音に対して音量レベルを設定できます。各タイプの音のレベルは、マスター音量に対するパーセンテージとなります。




- 1 音量を選択します。
- 2 オーディオミキサーを選択します。
- 3 スライダーバーを使用して、各タイプの音量を調節します。

画面の輝度を調整する

- 1 設定 > ディスプレイ > 輝度の順に選択します。
- 2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

交通モード

ルート探索およびナビゲーションは、交通モードに基づいて計算されます。現在の交通モードは、ステータスバーのアイコンで示されます。


	自動車モード
	自動二輪モード
	直行モード

交通モードを選択する

ステータスバーの交通モードアイコンを選択します。

ラージボタンキーボードの使用

言語とキーボードの設定で追加のキーボード言語やレイアウトを有効にできます。

- ・ **>**または**<**を選択すると、表示文字数が増えます。
- ・ を選択すると、別のキーボード言語やレイアウトに切り替えられます。

取り付け

自動二輪へのデバイスの取り付け

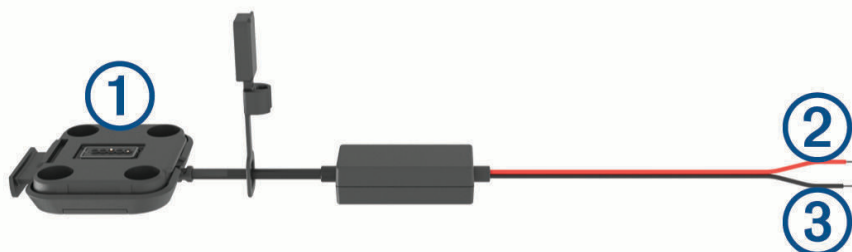
電源付きモーターサイクルマウント

⚠ 警告

Garmin® 装置の設置は、電気機器に関する適切な知識を持った、経験豊富な技術者が行うことを強くお勧めします。電源ケーブルの配線を誤ると、車両やバッテリーを破損し、怪我の原因になる可能性があります。

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

デバイスは、利用可能な電源と安全なケーブル配線に基づいて、自動二輪の適切で安全な場所に取り付ける必要があります。ヒューズは必要ありません。



①	自動二輪マウント
②	DC 10 ~ 30 V システム電源 (赤)
③	システムグラウンド (黒)

注：追加部品がデバイスに含まれているため、幅広い設置や配線が可能になっています。これらの部品を自動二輪で使用する方法については、経験豊富な取り付け業者にお問い合わせください。

圧着式リング端子: ワイヤハーネスをバッテリー端子に直接接続します。

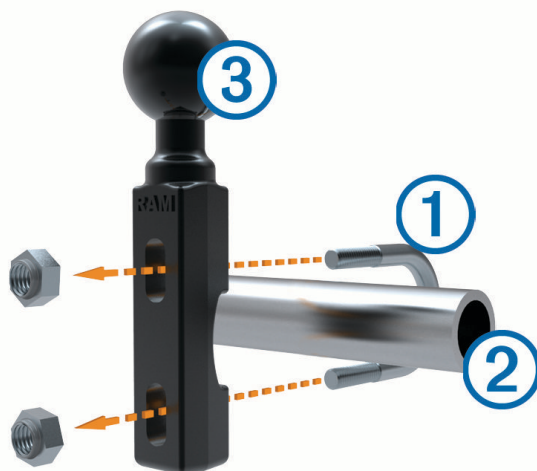
ケーブルタイ: ケーブルを自動二輪のフレームに固定します。

ハンドルバーベースの取り付け

デバイスには、2つのハンドルバーの取り付けソリューションのための部品が含まれています。カスタムマウントには、追加のハードウェアが必要です。

U 字形ボルトとハンドルバーベースの取り付け

1 U 字形ボルト①をハンドルバー②に置き、端をハンドルバーベース③に通します。

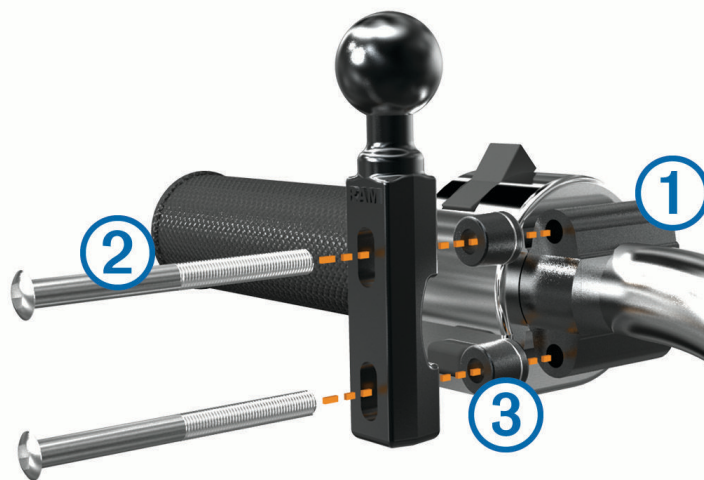


2 ナットを締め、ベースを固定します。

注：推奨トルクは 50 lbf-in (5.65 N-m) です。トルクが 80 lbf-in (9.04 N-m) を超えないようにしてください。

ハンドルバーベースのクラッチクランプまたはブレーキクランプブラケットへの取り付け

1 クラッチクランプまたはブレーキクランプブラケット①の工場で取り付けられた 2 本のボルトを取り外します。



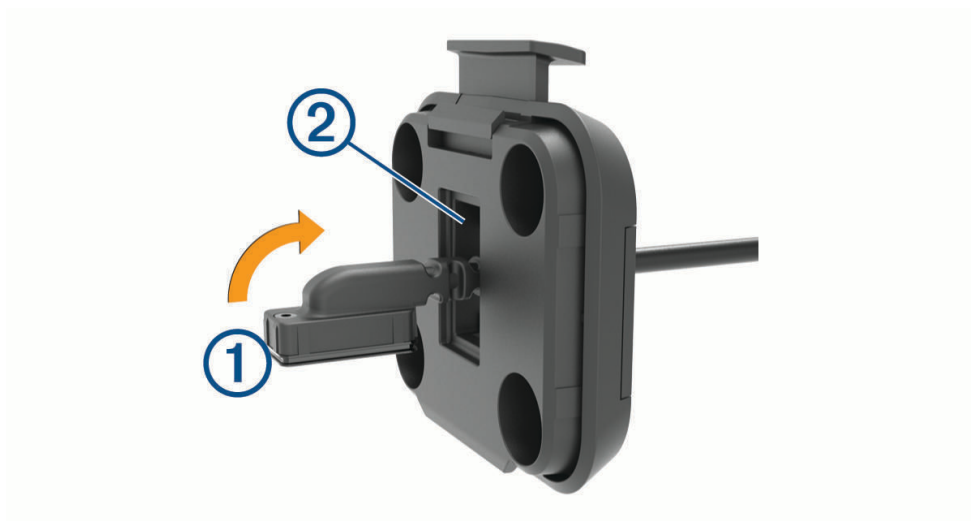
注：1/4 in. 標準ボルトと M6 ボルトの両方が付属しています。クラッチクランプまたはブレーキクランプブラケットの工場で取り付けられた 2 本のボルトのサイズを合わせます。

2 新しいボルト②を、ハンドルバーベース、スペーサー③、およびクラッチクランプまたはブレーキクランプブラケットに通します。

3 ボルトを締め、ベースを固定します。

自動二輪マウントへ電源ケーブルを接続する

1 自動二輪マウント上側の開口部 ② から電源ケーブルコネクタ ① を通します。



2 ケーブルがしっかりと固定されるまで引っ張ります。

3 マウント ④ の後ろに黒いねじ ③ をしめて、ケーブルが動かないように固定します。



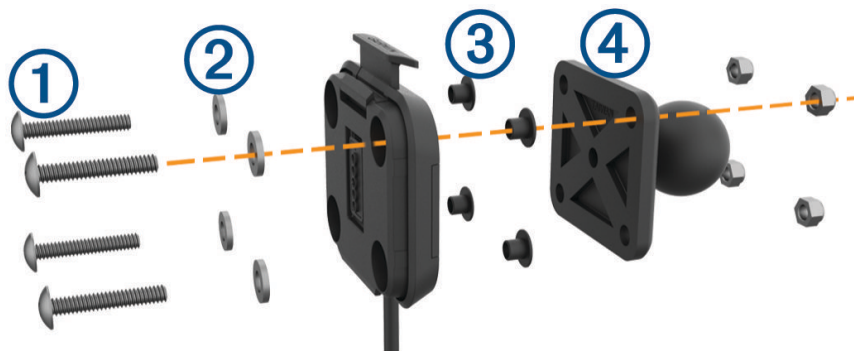
注： 予備の交換用ネジが同梱されています。

自動二輪マウントにベースプレートを取り付ける

注記

ベースプレートを含む自動二輪のその他の部品に直接接触し続けていると、時間の経過とともにマウントが損傷する場合があります。このような損傷を避けるため、マウントとベースプレートの間にマウントスペーサーを取り付け、デバイスまたはマウントが自動二輪に一切接触しないようにします。

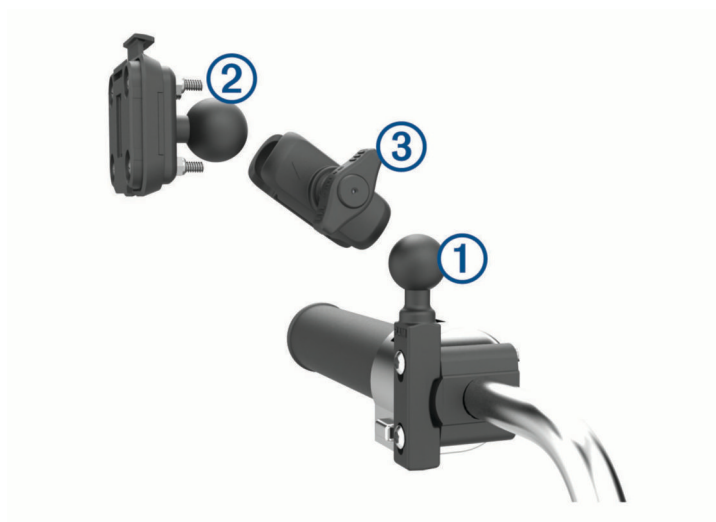
- 1 M4 x 20 mm なべ頭ねじ①をワッシャ②、クレードル、スペーサー③、ベースプレート④に通します。



- 2 ナットを締め、ベースプレートを固定します。

ハンドルバーベースにベースプレートを取り付ける

- 1 ハンドルバーベース①のボールとベースプレート②のボールの位置をダブルソケットアーム③のそれぞれの端で合わせます。



- 2 それぞれのボールをダブルソケットアームに差し込みます。
- 3 ノブをわずかに締めます。
- 4 最も見やすく、操作しやすいように調整します。
- 5 ノブを締め、マウントを固定します。

デバイスをモーターサイクルマウントに取り付ける

- 1 デバイスの底面をクレードルに合わせます。



- 2 デバイスの上側を、所定の位置に固定されるまで押し込みます。
デバイスを挿入した後、マウントのラッチ ① は上がったままになります。

デバイスを自動二輪マウントから取り外す

- 1 マウントの上面にあるリリースボタンを押します。
- 2 デバイスを持ち上げて外します。

自動車にデバイスを取り付ける

注記

装置を取り付ける前に、フロントガラスへの取り付けに関する地域法を確認してください。

⚠ 警告

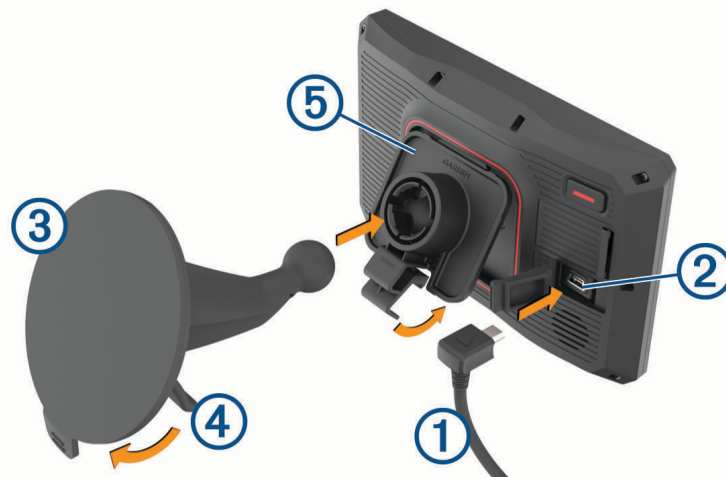
この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるため、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

自動二輪車への取り付けに吸盤を使用しないでください。

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

注：自動車マウントは、すべてのデバイスモデルに付属しているわけではありません。別売アクセサリを購入するには、garmin.com にアクセスしてください。

1 車両電源ケーブル ① をデバイスのポート ② に接続します。



- 2 吸盤 ③ から透明のプラスチックを取り外します。
- 3 フロントガラスと吸盤の汚れを、柔らかい布で拭き取り乾かします。
- 4 吸盤をフロントガラスに取り付け、レバー ④ をフロントガラス方向に倒します。
- 5 クレードル ⑤ を吸盤アームにはめ込みます。
- 6 デバイスの底面をクレードルに合わせます。
- 7 デバイスをクレードルにカチッと音がするまで押し込みます。
- 8 車両の電源ケーブルの反対側の端を、電源コンセントに接続します。

運転者への注意喚起の機能とアラート

△ 注意

運転者アラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、より安全な運転に役立つ機能を備えており、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも役立ちます。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。ユーザーは、アラートの種類ごとに通知音または音声メッセージを有効または無効にすることができます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

スクールゾーンまたは近くに学校: デバイスは通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンまでの距離と制限速度（利用可能な場合）を表示します。

制限速度低下: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度低下を表示するため、速度を下げる準備を整えることができます。

スピード超過アラート: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは通知音を再生し、速度制限アイコンに赤枠を表示します。

踏切: デバイスは通知音を再生し、この先の踏切までの距離を表示します。

動物出没: デバイスは通知音を再生し、この先の動物出没区域までの距離を表示します。

カーブ: デバイスは通知音を再生し、道路のカーブまでの距離を表示します。

渋滞: 渋滞に、より速い速度で近づくと、デバイスは通知音を再生し、渋滞までの距離を表示します。この機能を使用するには、デバイスでトラフィック情報を受信している必要があります。

休憩の計画: 停止しないで2時間以上運転を続けると、デバイスは通知音を再生し、この先の休憩場所を提案します。

運転者アラートを有効または無効にする

個別のオーディブル運転者アラートをオフにすることができます。オーディブルアラートを無効にしても、視覚アラートは表示されます。

1 設定 > 安全運転支援 > 運転者アラートの順に選択します。

2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注：この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- 一部の地域では、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンをデバイスに接続すると、ライブの赤信号データとスピードカメラのデータを受信できます。
- Garmin Express™ソフトウェア (garmin.com/express) を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

事故検出と通知

⚠ 警告

このデバイスでは、緊急連絡先にユーザーの位置情報を送信することができます。これは補助的な機能のため、本機能に依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。Garmin Drive アプリがユーザーに代わって救急医療機関等への連絡や救助の要請を行うことはありません。

注記

この機能を利用するには、Bluetooth 機能を使って Garmin Drive アプリに接続する必要があります。Garmin Drive アプリを使用して緊急連絡先を登録できます。

この機能を使用するには、付属のマウントまたは USB ケーブルを使用して、デバイスを互換性のある外部電源に接続する必要があります。

zūmo デバイスは、内蔵のセンサーを使用して車両事故の可能性を検知します。

- ・ 緊急連絡先を設定した場合、デバイスが事故を検知し、車両が停止すると自動テキストメッセージがその連絡先に送信されます。運転手が電話をかけたりメッセージを送信できない場合、その連絡先に状況を通知することができます。この機能を利用するには、デバイスと Garmin Drive アプリが Bluetooth で接続され、お使いのスマートフォンがデータ通信を利用できる環境である必要があります。
- ・ 緊急連絡先を設定していない場合に事故が検知されると、デバイスに最も近い住所または地理座標が自動的に表示されます(可能な場合)。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。
- ・ inReach® 衛星通信対応デバイスが zūmo デバイスに接続されている場合に zūmo デバイスで事故が検知されると、SOS を手動で送信できます。

事故連絡先の設定

事故検知の連絡先を設定する前に、次の作業を実行してください。

- ・ デバイスを Garmin Drive に接続します ([スマートフォンとヘッドセットのペアリング](#), 33 ページ)。
- ・ **設定 > ワイヤレスネットワーク**を選択し、スマートフォンで通話オプションが有効になっていることを確認します。

事故連絡先のセットアップ中デバイス、Garmin Drive アプリおよびスマートフォンの電話帳にアクセスできる必要があります。ハンズフリー通話にデバイスを使用しない場合、事故連絡先の設定後に通話オプションを無効化できます。

- 1 **設定 > 安全運転支援 > 事故通知 > 継続**を選択します。
スマートフォン連絡先のリストが表示されます。
- 2 連絡先を選択し、**次へ**を選択します。
- 3 連絡先の電話番号を確認して**次へ**を選択します。
- 4 自分の名前またはニックネームを入力し、**完了**を選択します。
- 5 事故メッセージのサンプルを確認し、**次へ**を選択します。
- 6 画面の指示に従い、連絡先に事故連絡先として追加したことを通知します。

注：事故の通知メッセージには、入力した名前やニックネームが含まれますが、ユーザーの電話番号から送信されません。このメッセージは、サードパーティサービスを使用して送信されるので、事故連絡先には不明の番号から事故メッセージが送信されることを通知してください。

- 7 **OK**を選択します。
- 8 情報を見直して、**保存**を選択します。

事故通知のキャンセル

デバイスが事故を検知すると、メッセージおよび音声プロンプトにより事故連絡先に通知が送信されることが通知されます。事故を検知すると 60 秒のタイマーがカウントダウンを始め、タイマーが切れると通知が自動的に送信されます。通知を送信しない場合は、キャンセルすることができます。

タイマーが切れる前に、**キャンセル**を選択します。

事故通知の無効化

事故通知が無効になっていると、デバイスは事故を検出しても SMS 通知を送信しません。

- 1 設定 > 安全運転支援 > 事故通知の順に選択します。
- 2 事故検知 SMS チェックボックスをオフにします。

inReach リモート

inReach リモート機能を使用すると、zūmo デバイスを使用して inReach 衛星通信デバイス (別売) を制御できます。メッセージの送信、天気予報の表示、SOS アラートの発信などを行うことができます。inReach デバイスを購入するには、buy.garmin.com にアクセスしてください。

inReach デバイスの接続


- 1 inReach デバイスを zūmo デバイスから 3 m (10 ft.) 内に置きます。
- 2 zūmo デバイスで、**アプリ > inReach** の順に選択します。
- 3 zūmo デバイスの画面の指示に従って、ペアリングプロセスを完了します。

ペアリングプロセスが完了すると、inReach と zūmo デバイスが通信範囲内にあるときに、デバイスが自動的に接続されます。

inReach メッセージの送信

zūmo デバイスを使用して inReach メッセージを送信する前に、互換性のある inReach デバイスとペアリングする必要があります ([inReach デバイスの接続, 12 ページ](#))。

デバイスを使用して、連絡先に inReach メッセージを送信できます。

- 1 **アプリ > inReach > ** の順に選択します。
- 2 **新規メッセージ**を選択します。
- 3 1 つまたは複数の連絡先を追加するには、**宛先選択**を選択します。
- 4 メッセージを入力します。
- 5 **送信**を選択します。

SOS


緊急時には、inReach デバイスを使用して Garmin International Emergency Response Coordination Center (IERCC) に連絡し、支援を要請できます。SOS ボタンを押すと、Garmin IERCC にメッセージが送信され、適切な緊急対応要員に状況を通知します。救急隊員が到着するのを待つ間に、Garmin IERCC と連絡を取ることができます。SOS 機能は、実際の緊急事態でのみ使用してください。

SOS 救助の開始

zūmo デバイスを使用して SOS 救助を開始する前に、デバイスを互換性のある inReach デバイスとペアリングする必要があります ([inReach デバイスの接続, 12 ページ](#))。

注記

デバイスが SOS モードのときは、inReach デバイスの電源をオフにしたり、オフにしようとししないでください。オフにすると、この機能が正常に作動しなくなり、緊急時に支援を受けるのが遅れる可能性があります。

- 1 **アプリ > inReach** の順に選択します。
- 2  を選択します。
- 3 SOS カウントダウンが始まるまで待ちます。
デバイスは、現在地の詳細により既定のメッセージを緊急対応サービスに送信します。
- 4 緊急対応サービスからの確認メッセージに返信します。
返信することで、救助中に対応できることを緊急対応サービスに知らせることができます。

救助の最初の 10 分間は、更新された場所が 1 分ごとに緊急対応サービスに送信されます。最初の 10 分以降にバッテリー電力を節約するため、移動中は更新された位置が 10 分ごとに送信され、静止中は 30 分ごとに送信されます。

SOS 救助のキャンセル

サポートが不要になった場合は、緊急対応サービスに送信した後に SOS 救助をキャンセルできます。

SOS 取り消し > SOS 取り消しの順に選択します。

デバイスがキャンセルリクエストを送信します。緊急対応サービスから確認メッセージを受信すると、デバイスは通常の動作に戻ります。

ヘルメット着用に関する通知文の表示

デバイスで最初に衛星を補足したときや、自動二輪の安全規則が提供される場所に近づいたときに、ヘルメットやアイプロテクターの着用に関する通知が zūmo デバイスに表示されることがあります。

注記

安全のため、Garmin では、すべての運転者にヘルメットの着用をお勧めしています。ヘルメットに関する法律の通知は参照用であり、変更される場合があります。また、この通知は、法律上の助言を与えることを目的としていません。ヘルメットに関する法律の通知は、米国およびカナダでのみ使用できます。

通知を選択すると、詳細情報が表示されます。

ヘルメットに関する法律を検索する

各州と地方のヘルメットに関する法律を検索することができます。

- 1 アプリ > ヘルメットガイドを選択します。
- 2 州または地方を選択します。

目的地へのナビゲーション

ルート

ルートとは、現在地から 1 つ以上の目的地までの経路のことです。

- デバイスは、ルート計算モード ([ルート探索方法を変更する, 14 ページ](#)) や回避 ([遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 18 ページ](#)) などで設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- デバイスは、アクティブな車両プロファイルに適していない道路を自動的に回避します。
- ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます ([ナビゲーションを開始する, 13 ページ](#))。
- 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます ([ルートを形成する, 17 ページ](#))。
- ルートに複数の目的地を追加できます ([ルートに場所を追加する, 17 ページ](#))。

ナビゲーションを開始する

- 1 **目的地は?**を選択し、場所を検索します。
- 2 位置を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、**Go!**を選択します。
 - 代替ルートを指定するには、**Y**を選択し、ルートを選択します。
地図の右側に代替ルートが表示されます。
 - ルートの経路を編集するには、**Y** > **ルートの編集**を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します ([ルート形成する, 17 ページ](#))。


デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します ([地図上のルート, 15 ページ](#))。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます ([ルートに場所を追加する, 17 ページ](#))。

Garmin Adventurous Routing™を使用したルートを選択

カーブの多い道や峠道を優先し、高速道路をあまり使用しないアドベンチャールートを計算できます。この機能により運転を楽しめますが、目的地までの時間や距離が長くなる可能性があります。

注：この機能は、すべてのデバイスモデルおよびすべての地域で利用できるわけではありません。

- 1 目的地は？>カテゴリーの順に選択します。
- 2 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 を選択します。
- 5 スライダーを使用して、ルートのアドベンチャーのレベルを増減させます。
- 6 Go！を選択します

ルート探索方法を変更する

- 1 設定>ナビゲーション>計算モードを選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 時間優先を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなる場合があります。
 - ・ 直行を選択すると、道路状況にかかわらず、ポイント間のルートを計算します。
 - ・ 距離優先を選択すると、走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなる場合があります。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。


- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 必要な場合は、**Q**を選択して、表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングします。
地図上に位置マーカー（色つきのドット）が表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 位置マーカーを選択します。
 - ・ ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 5 Go！を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

- 1 目的地は？>自宅への順に選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

自宅の場所を編集する

- 1 目的地は？>>自宅登録の順に選択します。
- 2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

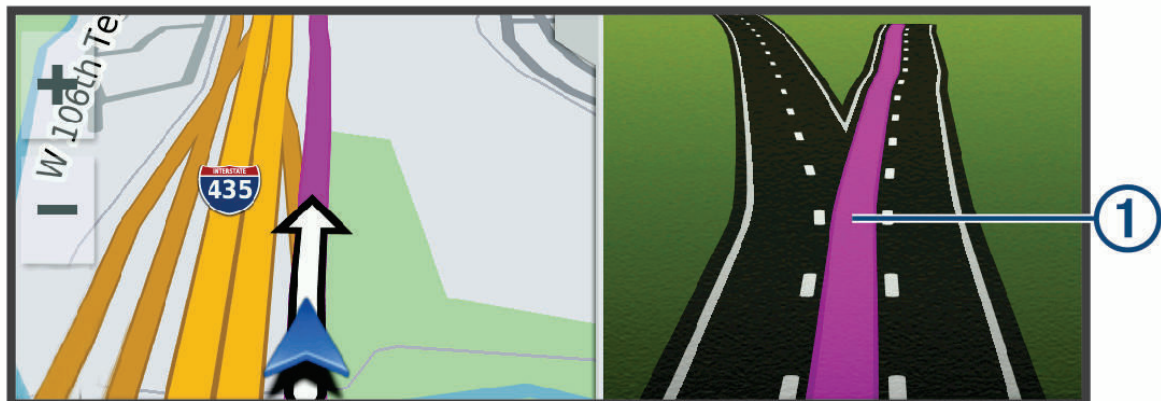
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



①	ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび（利用可能な場合）走行すべきレーンを示します。
②	次のアクションまでの距離。
③	次のアクションに関連する通りや出口の名前。
④	地図上に強調表示されたルート。
⑤	ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。
⑥	車速。
⑦	走行中の道路の名前。
⑧	到着予想時刻。 ヒント：このフィールドにタッチすると、表示される情報を変更できます。
⑨	地図ツール。ルートとその周辺の詳細情報を表示するためのツールを提供します。
⑩	地図レイヤー。地図の方向を変更したり、地形図や BirdsEye イメージを地図表示に追加したりできます。

アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づくと、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①が方向転換する車線を示します。



方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

1 地図から、オプションを選択します。

- ナビゲーションする際にこの先の方向転換や方向指示を表示するには、**⋮ > 方向転換**を選択します。
地図ツールには、地図の横に次の複数の方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
- ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

2 方向転換または方向指示を選択します (オプション)。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。


地図にルート全体を表示する

1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。

2 を選択します。

目的地に到着する


目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- は地図上の目的地の場所を示し、目的地に近づいていることを音声プロンプトがアナウンスします。
- 目的地に近づくと、デバイスは駐車場の検索をするかどうか自動的に尋ねます。はいを選択して、近くの駐車場を検索できます ([目的地の近くの駐車場, 17 ページ](#))。
- 目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しなかった場合は、停止を選択してルートを終了できます。

目的地の近くの駐車場

デバイスは、目的地の近くの駐車場所を探すのに役立ちます。目的地に近づくと、デバイスは駐車場の検索をするかどうか自動的に尋ねます。

1 次の中からオプションを選択します。

- ・ デバイスに確認のメッセージが表示されたら、**はい**を選択して近くの駐車場を検索します。
- ・ デバイスに確認のメッセージが表示されなかった場合は、**目的地は?** > **カテゴリー** > **駐車場の順**に選択し、 > **目的地周辺**を選択します。

2 **駐車場をフィルタリング**を選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します (オプション)。

注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

3 駐車場を選択し、**Go!** > **次の経由地を追加**の順に選択します。

デバイスは、駐車場にガイドします。

アクティブルートを変更する

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ナビゲーションを実行している必要があります ([ナビゲーションを開始する, 13 ページ](#))。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、トリッププランナーを使用して、トリップの計画、スケジュール、および保存ができます ([トリップを計画する, 47 ページ](#))。

1 地図から、 > **目的地は?**を選択します。

2 位置を検索します。

3 位置を選択します。

4 **Go!**を選択します。

5 次の中からオプションを選択します。

- ・ ルートの次の目的地として場所を追加するには、**次の経由地を追加**を選択します。
- ・ ルートの最後に場所を追加するには、**最後の経由地を追加**を選択します。
- ・ 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、**アクティブルートに追加**を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります ([ナビゲーションを開始する, 13 ページ](#))。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。

1 地図上の任意の場所を選択します。

2 **ルートを形成する**を選択します。

ヒント：を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。

デバイスはルート形成モードになり、ルートを再計算して選択した場所を通過します。

3 **Go!**を選択します。

4 必要に応じて、オプションを選択します。

- ・ ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。
- ・ シェイピングポイントを削除するには、シェイピングポイントを選択し、**削除**を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 1 地図で、**⋮** > **ルートの編集**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回**を選択します。
 - ・ ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路**を選択します。

ナビゲーションを停止する

地図で、**⋮** > **停止**を選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。[**トラフィック設定**] でこのオプションを無効にしている場合 (**トラフィック設定**, 53 ページ)、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、**⋮** > **トラフィック**を選択します。
- 2 代替ルートを選択します (利用可能な場合)。
- 3 **Go!**を選択します。

有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

- 1 **設定 > ナビゲーション**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。

注：メニューは、地域とデバイス上の地図データにより変化します。

 - ・ **有料道路**を選択します。
 - ・ **通行料金 > 有料道路**を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 有料区域を通過する前に毎回確認するには、**常に確認**を選択します。
 - ・ 有料道路を常に回避するには、**回避**を選択します。
 - ・ 有料道路を常に許可するには、**許可**を選択します。
- 4 **保存**を選択します。

有料ステッカーを回避する

デバイスの地図データに詳細な有料ステッカー情報が含まれている場合は、各国で有料ステッカーが必要とされる道路を避けたり、進入を許可したりできます。

注：この機能を利用できない地域もあります。

- 1 **設定 > ナビゲーション > 通行料金 > 料金ステッカー**を選択します。
- 2 国を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 有料ステッカーが必要とされる区域を通過する前に毎回確認するには、**常に確認**を選択します。
 - ・ 有料ステッカーが必要とされる道路を常に回避するには、**回避**を選択します。
 - ・ 有料ステッカーが必要とされる道路を常に許可するには、**許可**を選択します。
- 4 **保存**を選択します。

道路の回避機能

1 設定 > ナビゲーション > 回避の順に選択します。

2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、**保存**を選択します。

注：高速道路の回避が有効になっている場合でも、長距離ルートには高速道路が含まれる場合があります。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する

1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。

2 回避道路の追加を選択します。

3 回避する道路区域の始点を選択し、次へを選択します。

4 道路区域の終点を選択し、次へを選択します。

5 完了を選択します。

エリアを回避する

1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。

2 必要に応じて、回避の追加を選択します。

3 回避エリアの追加を選択します。

4 回避するエリアの左上隅を選択し、次へを選択します。

5 回避するエリアの右下隅を選択し、次へを選択します。

選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。

6 完了を選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。

2 回避を選択します。

3  > 無効の順に選択します。

カスタム回避を削除する

1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避 > を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- すべてのカスタム回避を削除するには**すべて選択 > 削除**の順に選択します。
- カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、**削除**を選択します。


直行ルートをナビゲーションする

ナビゲーションの指示に従わなかった場合は、直線モードを使用できます。

設定 > ナビゲーション > 計算モード > 直行 > 保存を選択します。

デバイスは道路を無視し、目的地間の直線を使用してルートを計算します。

燃料の記録

デバイスを設定して、燃料使用量を予測したり、予測最大走行距離に達した際に警告をだしたり、予測残走行距離に基づいて燃料の給油を促すようにすることができます。燃料計を有効にすると、で現在の燃料の状態を確認できます。

白: 燃料計が無効、またはデバイスが自動二輪マウントに接続されていません。

緑: 予測残走行距離が燃料タンクアラームレベルを上回っています。

黄: 予測残走行距離は燃料タンクアラームレベルを下回っています。

赤: ガソリン残量で走行できる予測距離はゼロです。

燃料計を有効にする

燃料計を有効にするには、事前にデバイスを自動二輪モードまたはオフロードモードにして、自動二輪車マウントに取り付ける必要があります。

燃料計を有効にすると、トリップコンピューターに燃料ゲージが表示されます ([トリップ情報ページを表示する, 30 ページ](#))。

- 1 燃料タンクを満タンにします。
- 2 アプリ > 燃料設定 > 燃料の記録の順に選択します。
- 3 満タン時の距離を選択します。
- 4 満タンで走行する距離を入力し、完了を選択します。

ガソリン残量アラームの設定

燃料タンクの残量が少なくなったときに、警告するよう設定することができます。

注：低燃料警告を機能させるには、デバイスを自動二輪車マウントに接続する必要があります。

- 1 燃料計を有効にします ([「燃料計を有効にする, 20 ページ」](#))。
- 2 燃料残量警告を選択します。
- 3 距離を入力し 完了を選択します。

燃料が入力した距離に必要なだけの容量まで減ると、地図ページにガソリン残量アラームが表示されます。

燃料タンクの燃費をリセットする

燃料タンクに給油するときは、燃料残量を正確に追跡するために、デバイスで燃料タンクの燃費をリセットする必要があります。

アプリ > 燃料設定 > 燃料タンクのリセットの順に選択します。

燃料給油案内を有効にする

燃料給油案内を有効にするには、事前にデバイスを自動二輪モードにして、自動二輪車マウントに取り付け、燃料計を有効にする必要があります。

予測残走行距離に基づいて、燃料給油を促すように設定することができます。

アプリ > 燃料設定 > 燃料給油案内の順に選択します。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地は?メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

- すべての場所情報をすばやく検索するには、検索語を入力します ([検索バーを使用して位置を検索する, 21 ページ](#))。
- カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索します ([ジャンル別施設, 21 ページ](#))。
- Foursquare®のジャンル別施設を検索し、チェックインします ([Foursquare のジャンル別施設を検索する, 26 ページ](#))。
- 検索ツールを使用して、住所、交差点、または地理座標など特定の場所を検索します ([検索ツール, 25 ページ](#))。
- 別の都市または地域の周辺を検索します ([検索エリアを変更する, 24 ページ](#))。
- お気に入りの場所を保存して後からすばやく検索できます ([位置を保存する, 27 ページ](#))。
- 最近検索した場所に戻ります ([最近検索した位置を表示する, 26 ページ](#))。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 目的地は?を選択します。
- 2 検索バーで **検索**を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
 - ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - ・ 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - ・ 入力したテキストを使用して検索するには、**Q**を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

ジャンル別施設

注記

ユーザーはジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

カテゴリーを入力して位置を検索する

- 1 目的地は?を選択します。
- 2 カテゴリーを選択するか、または **カテゴリー**を選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択します。

場所内のジャンル別施設にナビゲーションする

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

ショッピングモール内のストアまたは空港の特定のターミナルなど、大規模な場所の中にあるジャンル別施設 (POI) へのルートを作成できます。

- 1 目的地は? > **検索**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 場所を検索するには、場所の名前または住所を入力し、**Q**を選択して、手順 3 に進みます。
 - ・ POI を検索するには、POI の名前を入力し、**Q**を選択して、手順 5 に進みます。
- 3 場所を選択します。
場所の下にレストラン、レンタカー、またはターミナルなど、カテゴリーのリストが表示されます。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 POI を選択し、**Go !**を選択します。

デバイスは、POI の周辺の駐車場または場所までのルートを作成します。目的地に到着すると、推奨の駐車場がチェックフラッグで示されます。ラベルの付いたポイントは、場所内にある POI の位置を示します。

場所の探索

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。
各場所内にあるすべてのジャンル別施設のリストを表示できます。

- 1 場所を選択します。
- 2 ⓘ > この場所をさらに詳しく調べるを選択します。

Garmin Explore™のジャンル別施設の表示

- 1 目的地は? > Explore を選択します。
- 2 データタイプを選択します。
- 3 詳細を表示する項目を選択します。

Garmin Explore アカウントデータの同期

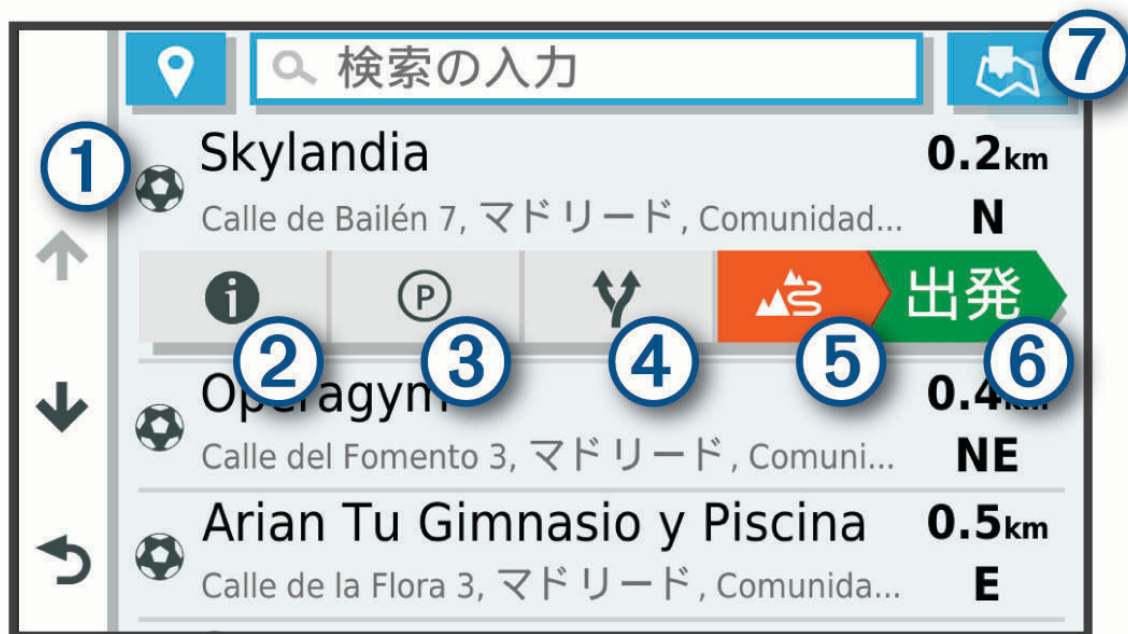
アカウントデータを同期する前に、Garmin Drive アプリに接続し、Garmin Explore を有効にする必要があります。







トラックや保存した場所などのデータを Garmin Explore アカウントと同期できます。これは、互換性のある各デバイスでデータを利用できるようにするために役立ちます。デバイスは定期的にデータをアカウントと自動的に同期します。いつでも手動でデータを同期することもできます。

- 1 目的地は? > Explore を選択します。
- 2 🔗 > Explore データの同期の順に選択します。

場所検索の結果


デフォルトでは、場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。




①	場所を選択してオプションメニューを表示します。
② 	選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。
③ 	選択して、場所の近くの駐車場を検索します。
④ 	選択して、場所への代替ルートを表示します。
⑤ 	選択して、Garmin Adventurous Routing を使用して場所へのナビゲーションを開始します。
⑥ 	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。
⑦ 	選択して、検索結果を地図上に表示します。

地図上の場所検索結果

場所検索の結果をリストではなく地図に表示できます。


場所検索の結果から、 を選択します。最も近い場所が地図の中心に表示され、選択した場所の基本情報が地図の下部に表示されます。



①	地図をドラッグして、追加の検索結果を表示します。
②	追加の検索結果。選択して、別の場所を表示します。
③	選択した場所の概要。選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。
④ Go !	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。
⑤ 	選択して、検索結果をリストに表示します。

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 目的地は?を選択します。
- 2 を選択します。
- 3 オプションを選択します。

駐車場

zūmo デバイスは詳細な駐車場データを含んでいます。これは、駐車場の利用可能性、駐車場のタイプ、料金、または認められている支払い方法に基づいて近くの駐車場を検索するのに役立ちます。

注： 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

現在の場所近くの駐車場を検索する

- 1 目的地は? > カテゴリー > 駐車場の順に選択します。
- 2 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の 1 つまたは複数のフィルタカテゴリを選択します (オプション)。
注： 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。
- 3 駐車場を選択します。
- 4 Go ! を選択します。

指定した場所近くの駐車場を検索する

- 1 位置情報を検索します。
- 2 位置検索結果から位置を選択します。
- 3 **P**を選択します。
選択した場所の近くにある駐車場のリストが表示されます。
- 4 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払方法の 1 つまたは複数のフィルタカテゴリを選択します (オプション)。
注： 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。
- 5 駐車場を選択します。
- 6 Go ! を選択します。

駐車場の色分けと記号について

詳細なパーキングデータがある駐車場所では、駐車スポットが見つかる可能性が色で表示されます。記号は駐車場のタイプ (路上またはパーキングロット)、関連する料金情報、および支払タイプを示します。

これらの色と記号の凡例はデバイスで表示できます。

パーキング検索の結果から、**i** を選択します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 目的地は?を選択します。
- 2 必要に応じて、📍を選択して、別の都市または地域の周辺を検索します。
- 3 住所を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

交差点を検索する

2本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

- 1 目的地は? > 交差点の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。

- 1 目的地は? > 座標の順に選択します。
- 2 必要に応じて📍を選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 緯度 / 経度を入力します。
- 4 地図上で表示を選択します。


HISTORY ジャンル別施設 (POI) を検索する

注：この機能は、すべての製品モデルおよびすべての地域で利用できるわけではありません。

注記

ユーザーはキャンプ場やジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

このデバイスには HISTORY ジャンル別施設が登録されています。これにより、歴史的建造物、文化財、博物館、歴史的に重要な事件が起こった場所などを検索して、詳細を見ることができます。

- 1 目的地は? > HISTORY®の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 を選択すると、その場所の写真と歴史の概要が表示されます。

Foursquare

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスには Foursquare の数百万のジャンル別施設が事前にダウンロードされており、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

互換性のあるスマートフォンの Garmin Drive アプリを使用して、Foursquare アカウントに接続することができます。これにより、Foursquare 場所の詳細の表示、場所へのチェックイン、およびオンライン Foursquare データベースでジャンル別施設の検索が可能です。

Foursquare アカウントに接続する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります ([スマートフォンとヘッドセットのペアリング](#), 33 ページ)。

- 1 スマートフォンで、Garmin Drive アプリを開きます。
- 2  > **Foursquare®** > **ログイン**を選択します。
- 3 Foursquare ログイン情報を入力します。

Foursquare のジャンル別施設を検索する


デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。Garmin Drive アプリを使用して Foursquare アカウントに接続しているとき、検索では、Foursquare オンラインデータベースから最新の結果が得られ、Foursquare ユーザーアカウントからはカスタマイズされた結果が得られます ([Foursquare アカウントに接続する](#), 26 ページ)。

目的地は? > **Foursquare®**を選択します。

Foursquare の場所の詳細を表示する


この機能を使用する前に、お使いのデバイスが Garmin Drive アプリを使用して Foursquare アカウントに接続されている必要があります ([Foursquare アカウントに接続する](#), 26 ページ)。

ユーザー評価、レストランの価格設定情報、営業時間など、Foursquare の場所に関する詳細情報を表示できます。

- 1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。
- 2  を選択します。

Foursquare によるチェックイン

この機能を使用する前に、お使いのデバイスが Garmin Drive アプリを使用して Foursquare アカウントに接続されている必要があります ([Foursquare アカウントに接続する](#), 26 ページ)。

- 1 目的地は? > **Foursquare®** > **チェックイン**を選択します。
- 2 ジャンル別施設を選択します。
- 3  > **チェックイン**を選択します。

Tripadvisor

注記

Garmin は Tripadvisor 情報の正確性または適時性について責任を負いません。

ユーザーはジャンル別施設 (POI) に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

お使いのデバイスには、Tripadvisor トラベラー評価が含まれています。Tripadvisor 評価は、自動的に該当する施設リスト (レストラン、ホテル、アトラクション) の検索結果に表示されます。近くの Tripadvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えることもできます。

Tripadvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する

- 1 目的地は? > **Tripadvisor** の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
そのカテゴリーに該当する、近くの Tripadvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。
- 3 距離または人気度で検索結果を並べ替えるには、**結果を並べ替える**を選択します (オプション)。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

目的地は? > **最近表示した項目**の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

目的地は? > 最近表示した項目 >  > 消去 > はいの順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

1 地図で、車両を選択します。

2 病院、警察署、ガソリンスタンド、または路上支援を選択します。


注：サービスカテゴリの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。

選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。

3 位置を選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

- ・ その場所までのナビゲーションを開始するには、Go! を選択します。

- ・ 電話番号や場所に関するその他の詳細を表示するには、 を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

1 地図で、車両を選択します。

2  > 現在地までの道順の順に選択します。

3 始点を選択します。

4 選択を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリ、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

1 目的地は? > ショートカットの追加の順に選択します。

2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

1 目的地は? >  > ショートカットの削除の順に選択します。

2 削除するショートカットを選択します。

3 確認のため再度ショートカットを選択します。

4 完了を選択します。

位置を保存する

位置を保存する

1 位置を検索します (カテゴリを入力して位置を検索する, 21 ページ)。

2 検索結果から位置を選択します。

3  > 保存を選択します。

4 名前を入力し、完了を選択します。

地図を使用して位置を保存する

地図から位置を選択して保存できます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 4 保存を選択します。
- 5 オプションを選択します (複数可)。
 - ・ 位置の名前を変更するには、**名前**を選択して名前を入力します。
 - ・ 位置マーカーを変更するには、**地図記号**を選択します。
 - ・ コレクションカテゴリを割り当てるには、**コレクション**を選択します。
- 6 完了を選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 保存を選択します。
- 3 名前を入力し、完了を選択します。
- 4 OK を選択します。

保存した位置を編集する

- 1 目的地は? > 保存済みの順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 ⓘ を選択します。
- 5 ≡ > 編集を選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 名前を選択します。
 - ・ 電話番号を選択します。
 - ・ カテゴリを保存した位置に割り当てるには、**カテゴリ**を選択します。
 - ・ 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、**地図記号の変更**を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 完了を選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 目的地は? > 保存済みの順に選択します。
- 2 ≡ > 保存した場所を削除の順に選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、**削除**を選択します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと ([地図上のルート, 15 ページ](#))やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
 - 拡大または縮小するには、**+** または **-** を選択します。
 - ノースアップ表示と 3D 表示を切り替えるには、**▲** を選択します。
 - 表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングするには、**Q** を選択します。
 - ルートを開始するには、地図上で位置を選択し、**Go !** ([地図を使用してナビゲーションを開始する, 14 ページ](#))を選択します。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

ルートの編集: 迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます ([アクティブルートを変更する, 17 ページ](#))。

ミュート: デバイスの音声をミュートします。

次の都市まで: アクティブルートや高速道路沿いの、次の都市およびサービスを表示します。

コースポイント: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します ([この先, 29 ページ](#))。

高度: この先の高度変化を表示します。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します ([進行方向の交通事故を表示する, 31 ページ](#))。この機能は、一部の地域やデバイスモデルでは利用できません。

出張データ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します ([地図からトリップデータを表示する, 30 ページ](#))。

トラックレコーダー: アクティブなルートのトラックデータを表示します。

方向転換: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します ([方向転換と方向指示を表示する, 16 ページ](#))。

スマートフォン: 接続されている電話の最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します。

天気: エリアの天気状況を表示します。

カメラを通知: スピードカメラや赤信号カメラを通知できます。このツールは、デバイスにスピードカメラデータや赤信号カメラデータがあり、Garmin Drive アプリ ([スマートフォンとヘッドセットのペアリング, 33 ページ](#))。

ミュージックプレイヤ: メディアコントロールとメディア情報を表示します。

グループライド: グループライドのメンバーの距離および方向を表示します ([グループライド, 38 ページ](#))。

ラジオ: 互換性のある Bluetooth ヘッドセットでプッシュトゥトーク機能を使用できます ([ヘッドセットでプッシュトゥトークを有効にする, 41 ページ](#))。

地図ツールを表示する


- 1 地図で **⋮** を選択します。
- 2 地図ツールを選択します。
地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。
- 3 地図ツールを使い終わったら、**✕** を選択します。

この先

コースポイントツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設をカテゴリーごとに表示できます。



3 つのカテゴリーをコースポイントツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

- 1 地図から  > コースポイントを選択します。
走行中、地図ツールは道路またはルートに沿って次の場所を表示します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 地図ツールに複数のカテゴリーが表示されている場合は、1つのカテゴリーを選択すると、そのカテゴリーに関する周辺の場所が一覧で表示されます。
 - ・ 地図ツールに「この先の場所」が表示されている場合は、場所を選択すると、その場所の詳細情報やそこまでのルートが表示されます。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする


コースポイントツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

- 1 地図で、  > コースポイントを選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3  を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
 - ・ カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
 - ・ カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、**カスタム検索**を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。
- 5 保存を選択します。

次の都市まで

高速道路または高速道路を含むルートの走行中に、この先の都市に関する情報が[次の都市まで]ツールに表示されます。各都市の高速道路出口や出入口サービスまでの距離が、高速道路標識と同様に地図ツールに表示されます。

この先の都市や出入口サービスの表示


- 1 地図で、  > 次の都市までを選択します。
高速道路やアクティブルートの走行中に、この先の都市や出口に関する情報が地図ツールに表示されます。
- 2 都市を選択します。
デバイスに、選択した都市や出口にあるジャンル別施設（ガソリンスタンド、宿泊施設、レストランなど）が表示されます。
- 3 場所を選んで、**Go!**を選択すると、ナビゲーションが開始されます。

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図から、  > 出張データを選択します。

トリップデータフィールドをカスタマイズする


- 1 地図から、  > 出張データの順に選択します。
- 2 トリップデータフィールドを選択します。
- 3 オプションを選択します。
トリップデータ地図ツールに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

トリップ情報ページを表示する

トリップ情報ページには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

地図で、**スピード**を選択します。

トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、**スピード**を選択します。
- 2  > フィールドのリセットの順に選択します。
- 3 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、**すべて選択**を選択します。
 - ・ トリップコンピュータの情報をリセットするには、**全データのリセット**を選択します。
 - ・ 最高速度をリセットするには、**最高速度のリセット**を選択します。
 - ・ オドメーターをリセットするには、**トリップ B のリセット**を選択します。


進行方向の交通事故を表示する

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。


この機能を使用するには、デバイスでトラフィックデータ ([トラフィック](#) , 36 ページ)を受信している必要があります。

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。


- 1 ルートのナビゲーションの実行中に、 > **トラフィック**の順に選択します。
地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。
- 2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、**アプリ** > **トラフィック**を選択します。
- 2 必要に応じて、 > **凡例**を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、**アプリ** > **トラフィック**を選択します。
- 2  > **事故**を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする


ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1 **設定** > **地図 / 車両** > **地図レイヤー**の順に選択します。
- 2 地図に表示したいレイヤーを選択し、**保存**を選択します。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注：スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図アイコンを変更する

- 1 地図から、地図アイコンを押し続けます。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ 地図アイコンを置き換えるには、地図アイコンを選択し、表示する地図アイコンを選択します。
 - ・ 地図アイコンを削除するには、 を選択します。
- 3 保存を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1 設定 > 地図 / 車両 > 運転地図表示の順に選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ **トラフィック** を選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - ・ **ノースアップ** を選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - ・ **3D** を選択すると地図が 3D 表示されます。
- 3 保存を選択します。

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

⚠ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

Garmin Drive アプリを使用すると、デバイスでスマート通知やライブ情報(ライブトラフィックデータや天気情報など)を受信することができます。

ライブトラフィックデータ: 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのライブトラフィックデータをデバイスに送信します([トラフィック](#), 36 ページ)。

天気情報: リアルタイムで天気予報、道路状況、天気レーダーをお使いのデバイスに送信します([天気予報を表示する](#), 49 ページ)。

スマート通知: スマートフォンの通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話: 接続した Bluetooth ヘッドセットを使用して、デバイスから電話をかけたり受けたりすることができます。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。






Foursquare チェックイン: ナビゲーションデバイスを使用して、Foursquare の場所にチェックインできます([Foursquare によるチェックイン](#), 26 ページ)。

Bluetooth 機能のステータスアイコン

ステータスアイコンは、Bluetooth 設定のペアリングされた各デバイスの横に表示されます。

設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

- ・ グレーのアイコンは、そのデバイスの機能が無効になっているか、切断されていることを示します。
- ・ 色の付いたアイコンは、そのデバイスの機能が接続されていてアクティブであることを示します。

	ハンズフリー通話
	スマート通知
	Garmin Drive の機能とサービス
	メディアのストリーミング
	ヘッドセットが接続されている

スマートフォンとヘッドセットのペアリング


デバイスの電源を初めてオンにすると、スマートフォンとヘッドセットをペアリングするように求められます。必要に応じて、**設定 > セットアップ** の完了を選択して後でセットアップを完了できます。いくつかの Bluetooth 機能を使用するには、zūmo デバイスでスマートフォンと Bluetooth ヘッドセットのペアリングをする必要があります。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

一部の機能を使用するには、Garmin Drive アプリが必要です。Garmin Drive アプリには、ペアリングの処理中またはペアリング後に接続できます。

- 1 zūmo デバイスとスマートフォンの距離は 3 m (10 ft.) 以内になるようにします。
- 2 ヘッドセットまたはスマートフォンで、Bluetooth 無線技術を有効にして、検出可能にします。
詳細についてはヘッドセットまたはデバイスのマニュアルを参照してください。
- 3 zūmo デバイスで、**設定 > ワイヤレスネットワーク**を選択します。
- 4 必要に応じて、このチェックボックスをオンにして、Bluetooth を有効にします。
- 5 **デバイスの検索**を選択し、近くにあるデバイスのリストからヘッドセットまたはスマートフォンを選択します。
- 6 画面の指示に従い、デバイスにヘッドセットまたはスマートフォンをペアリングします。

スマート通知

デバイスが Garmin Drive アプリに接続されているときは、zūmo デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

注：ナビゲーションデバイスが Garmin Drive アプリに接続した後、ナビゲーションデバイス上で通知を受信するまで数分間待つことが必要な場合があります。スマート通知が接続され、アクティブになると、Bluetooth 設定に  が色付きで表示されます (Bluetooth 機能のステータスアイコン, 33 ページ)。

通知を受信する

⚠ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリ (スマートフォンとヘッドセットのペアリング, 33 ページ) が実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注：地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されます。

- ・ 通知を無視するには、**OK** を選択します。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。
- ・ 通知を表示するには、**表示**を選択します。
- ・ 通知を聞くには、**表示 > 再生**の順に選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- ・ 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、**表示**を選択してからオプションを選択します。

注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

地図の表示中に通知を受信する

⚠ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります (スマートフォンとヘッドセットのペアリング, 33 ページ)。

地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

- ・ 通知を無視するには、**✕**を選択するか、ポップアップの期限が切れるまで待ちます。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。
- ・ 通知を表示するには、通知テキストを選択します。
- ・ 通知を聞くには、**メッセージを再生**を選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- ・ 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、**表示**を選択してからオプションを選択します。

注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

通知のリストを表示する

すべてのアクティブな通知のリストを表示できます。

1 アプリ > スマート通知の順に選択します。

通知のリストが表示されます。未読の通知は黒で表示され、以前に読まれた通知はグレーで表示されます。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ 通知を表示するには、通知の説明を選択します。
- ・ 通知を聞くには、**▶**を選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話

注：ほとんどのスマートフォンとヘッドセットはサポートされていて使用できますが、特定のスマートフォンまたはヘッドセットの互換性は保証されていません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを互換性のあるスマートフォンとワイヤレスヘッドセットまたはヘルメットに接続し、ハンズフリーデバイスとして使用することができます。互換性を確認するには、www.garmin.com/bluetooth にアクセスしてください。

電話をかける

- 1 アプリ > スマートフォンを選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 電話をかけるには、**ダイヤル**を選択して電話番号を入力し、**ダイヤル**を選択します。
 - ・ 最近の不在着信または最近ダイヤルした電話あるいは受信した電話の番号を表示するには、**通話履歴**を選択し、**ログ**を選択し、**番号**を選択し、**通話**を選択してダイヤルします。
 - ・ 電話帳にある連絡先に電話をかけるには、**電話帳**を選択し、**連絡先**を選択し、**通話**を選択します。
 - ・ レストランやアトラクションなどジャンル別施設に電話をかけるには、**カテゴリーを参照**を選択し、**カテゴリー**を選択し、**場所**を選択し、**通話**を選択します。

自宅に電話をかける

自宅に電話をかける前に、自宅の電話番号を入力する必要があります。


アプリ > スマートフォン > 自宅へ電話の順に選択します。

音声ダイヤルを使用して電話をかける

- 1 アプリ > スマートフォン > 音声ダイヤルの順に選択します。
- 2 音声プロンプトを聞きます。
- 3 通話と発音し、通話先の名前、電話番号、または場所を音声入力します。

通話中オプションを使用する

通話中オプションは、電話に出た時に利用できます。一部のオプションはお使いの電話に対応していない可能性があります。

ヒント：通話中オプションのページを閉じた場合、任意の画面からを選択して再度開くことができます。地図から発信者を選択することもできます。

- ・ 会議通話を設定するには、**通話の追加**を選択します。
- ・ オーディオを電話に転送するには、**リゲーターで通話中**を選択します。

ヒント：この機能は、Bluetooth の接続を解除して通話を継続する場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。
- ・ ダイヤルパッドを使用するには、**キーパッド**を選択します。

ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。
- ・ マイクをミュートするには、**ミュート**を選択します。
- ・ 電話を切るには**通話終了**を選択します。

Apple デバイス用に Bluetooth 機能をセットアップする

デフォルトでは、電話をペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の機能を有効にしたり、無効にしたり、カスタマイズしたりできます。

Bluetooth 機能を無効にする (iPhone)

デフォルトでは、スマートフォンをペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の Bluetooth 機能を無効にしても、他の機能には接続したままにすることができます。

1 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- すべての Bluetooth 機能を無効にするには、Bluetooth チェックボックスをオフにします。
- ハンズフリー通話を無効にするには、スマートフォンの名称を選択し、**通話**チェックボックスをオフにします。

Android™が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能をセットアップする

デフォルトでは、電話をペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の機能を有効にしたり、無効にしたり、カスタマイズしたりできます。

Bluetooth 機能を無効にする (Android)

デフォルトでは、スマートフォンをペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の Bluetooth 機能を無効にしても、他の機能には接続したままにすることができます。

1 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- すべての Bluetooth 機能を無効にするには、Bluetooth チェックボックスをオフにします。
- ハンズフリー通話のみを無効にするには、スマートフォンの名称を選択し、**通話**チェックボックスをオフにします。

Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetooth デバイスは、今後も zūmo デバイスに自動的に接続できます。

1 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

2 接続を解除するデバイスを選択します。

3 未接続を選択します。

ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにできます。

1 設定 > ワイヤレスネットワークを選択します。

2 電話を選択して、**デバイスを解除**を選択します。

[トラフィック]

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます ([トラフィック設定](#), 53 ページ)。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがトラフィックデータを受信する必要があります。

- すべての製品モデルで、Garmin Drive アプリを使用してトラフィックデータを受信できます (サブスクリプション無料)。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、garmin.com/traffic を参照してください。

スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する

デバイスは、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンに接続されているときに、サブスクリプション無料のトラフィックデータを受信できます。

- 1 デバイスを Garmin Drive アプリに接続します (スマートフォンとヘッドセットのペアリング, 33 ページ)。
- 2 zūmo デバイスで、**設定** > **トラフィック** の順に選択し、トラフィックチェックボックスがオンになっていることを確認します。

トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する

注記

ヒーター付き (熱線付き) フロントガラスは、交通情報受信機の性能を低下させることがあります。

トラフィックレシーバーは、利用可能な場合、無線ブロードキャスト信号からトラフィックデータを受信します。無線トラフィックデータを受信するには、トラフィックに対応する電源ケーブルを使用して、デバイスを車両の電源に接続する必要があります。トラフィックレシーバーは、一部の製品モデル ([\[トラフィック \]](#), 36 ページ) に付属しています。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、garmin.com/traffic を参照してください。

トラフィックに対応する電源ケーブルを使用して、デバイスを車両の電源に接続します (自動車にデバイスを取り付ける, 9 ページ)。

お使いの製品モデルにトラフィックデータが含まれている場合、デバイス付属の車両電源ケーブルはトラフィックに対応しています。

ユーザーがトラフィック情報を利用できる地域にいれば、デバイスはトラフィック情報を表示でき、交通遅延の回避に役立ちます。

トラフィックレシーバーサブスクリプション

地域のトラフィックデータサブスクリプションは、ほとんどのトラフィックレシーバーに付属しています。追加の地域のサブスクリプションをトラフィックレシーバーに追加できます。詳細については、garmin.com/traffic を参照してください。

トラフィックサブスクリプションを表示する

設定 > **トラフィック** > **サブスクリプション** の順に選択します。

購読を追加する

他の地域または国のトラフィックサブスクリプションを購入することができます。

- 1 **設定** > **トラフィック** の順に選択します。
- 2 **サブスクリプション** > **+** の順に選択します。
- 3 FM トラフィックレシーバーのユニット ID を書き留めます。
- 4 サブスクリプションを購入するには、garmin.com/fmtraffic にアクセスして 25 文字のコードを取得してください。

トラフィックサブスクリプションコードは再使用できません。サービスを更新するたびに新しいコードを取得する必要があります。複数の FM トラフィックレシーバーを持っている場合は、レシーバーそれぞれに個別のコードを取得する必要があります。


- 5 デバイスで次へを選択します。
- 6 コードを入力します。
- 7 完了を選択します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、**アプリ** > **トラフィック** を選択します。
- 2 必要に応じて、**≡** > **凡例** を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、**アプリ**>**トラフィック**を選択します。
- 2  > **事故**を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

アプリケーションを使用する

グループライド

グループライドアプリを使用すると、あらかじめ設定されたテキストメッセージ、ライブ地図の位置情報、および音声通信を使用して、ドライブを調整したり、近くのライダーと通信したりできます。

注：グループライドアプリを使用する前に、グループライドアクセサリを取り付ける必要があります。グループライドアクセサリを購入するには、garmin.com にアクセスしてください。

グループライドを開始する

グループライドを作成して、グループ無線チャンネルの選択、グループライドに参加する運転者の表示と削除、グループライド名の設定を行うことができます。

- 1 メインメニューで**グループライド**>**グループライドを開始**の順に選択します。
- 2 運転者名を入力してから、**完了**を選択します。
- 3 必要に応じて無線機チャンネルを選択し、**次へ**を選択します。
- 4 ライド名を入力してから、**完了**を選択します。
運転者があなたのグループライドに加わると、その名前がリストに表示されます。
- 5 **開始**を選択します。
グループライドは、すべての運転者がグループライドと同期した後に開始されます。

グループライドへの参加

他のライダーによって作成された近くのグループライドに参加できます。

注：一部の製品モデルでは、グループライドアプリはアプリメニューにあります。

- 1 メインメニューで、**グループライド**>**周辺のグループライド**の順に選択します。
- 2 近くのグループライドを選択し、**参加**を選択します。


最近のグループライドに再参加する

直近の10のグループライドのいずれかに再参加できます。

- 1 メインメニューで、**グループライド**>**最近のグループライド**を選択します。
- 2 最近のグループライドを選択し、**参加**を選択します。

グループライドに運転者を追加する

すでに進行中のグループライドに運転者を追加できます。


- 1 メインメニューで、**グループライド**を選択します。
- 2 必要に応じて  を選択します。
- 3 **追加**を選択します。
新しい運転者がグループライドに加わると、リストに表示されます。
- 4 **継続**を選択します。

メッセージの配信

⚠ 警告

運転中はメッセージを読んだり送信したり返信したりしないでください。そうすると、ディスプレイに気を取られ、負傷または死亡を招く事故につながる可能性があります。

VHF 無線機の範囲内にあるアクティブなグループライドのメンバーに、プリセットメッセージを配信できます。


- 1 メインメニューで、**グループライド**を選択します。
- 2 必要に応じて、を選択します。
- 3 **グループに配信**を選択します。
- 4 プリセットメッセージを選択し、**送信**を選択します。

位置情報の配信

⚠ 警告

運転中は、ディスプレイを操作して位置情報を配信しないでください。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。

VHF 無線機の範囲内にあるアクティブなグループライドのメンバーに位置情報を配信できます。

- 1 メインメニューで、**グループライド**を選択します。
- 2 必要に応じて、を選択します。
- 3 **グループに配信 > 位置情報を配信**の順に選択し、位置情報を選択します。
- 4 **共有**を選択します。

グループライド通知の表示

⚠ 警告


運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。

ほとんどのページでは、送信されたグループライドの位置やメッセージをデバイスが受信すると通知が表示されます。Group Ride アプリでグループライド通知を表示することもできます。

注：地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。

- 1 メインメニューから**グループライド > **の順に選択し、通知を選択します。
- 2 **Go!**を選択すると、共有している場所までのナビゲーションが開始されます。

グループライドの終了

- 1 メインメニューで**グループライド**を選択します。
- 2 必要に応じて、を選択します。
- 3 **終了 > 継続**の順に選択します。

グループライド設定

メインメニューで**グループライド > **の順に選択します。

運転者名を編集: グループライド中に表示される名前を設定できます。この設定は、アクティブなグループライド中は使用できません。

運転者地図ラベル: 地図上のアクティブな各運転者に表示されるラベルを設定します。

トラックを地図に表示: 各グループライドメンバーが取るトラックを地図上に示します。

グループに自動ズーム: 地図をアクティブなグループライドに自動的にズームできるようにします。

設定リセット: すべてのグループライド設定を初期設定値にリセットできます。この設定は、アクティブなグループライド中は使用できません。

ラジオ

注：この機能を利用できない製品モデルもあります。

無線アプリを使用すると、無線プリセットの作成、無線チャンネルの選択、およびスケルチコードの選択ができます。この機能を使用するには、デバイスとアンテナをグループプライドマウントに接続する必要があります。グループプライドに参加またはグループプライドを作成すると、zūmo デバイスは無線設定を自動的に構成します。

プリセットの選択

注：一部の製品モデルでは、無線機アプリはアプリメニューにあります。

- 1 メインメニューで**ラジオ**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 使用可能なプリセット間を移動するには、▲または▼を選択します。
 - ・ メニューからプリセットを選択するには、**プリセット**を選択します。

無線チャンネルを選択する

- 1 メインメニューで**ラジオ**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 異なるチャンネルに移動するには、+または-を選択します。
 - ・ メニューから MURS チャンネルを選択するには、**チャンネル**を選択します。

スケルチの調整

スケルチを調整し、CTCSS、DCS、およびオープンスケルチモードを切り替えると、音質を向上させ、エリア内の無線干渉を回避できます。


- 1 メインメニューで、**ラジオ**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 現在のモードでスケルチコードを選択するには、+または-を選択します。
 - ・ スケルチモードを調整するには、**開く**を選択します。

カスタム無線プリセットの追加

- 1 **ラジオ** > **プリセット** > (+)の順に選択します。
- 2 +または-を選択し、チャンネルおよびスケルチコードを選択します。
- 3 **保存**を選択します。

了解トーンを選択

無線を操作したときに他の機器が再生するトーンを選択できます。



- 1 **ラジオ** >  > **了解トーン**の順に選択します。
- 2 了解トーンを選択します。
選択したトーンがデバイスで再生されます。
- 3 **保存**を選択します。

無線機をオフにする

ラジオ >  > **継続**の順に選択します。

ヘッドセットでプッシュトークを有効にする

互換性のある Bluetooth ヘッドセットで使用するプッシュトークコントロールを有効にできます。これにより、ヘッドセットの音声ダイヤル機能を使用して音声を送信できます。

- 1 ラジオ >  > ヘッドセット経由でプッシュトークの順に選択します。
- 2 必要に応じて、画面の指示に従い、デバイスにヘッドセットをペアリングします。
- 3 ヘッドセット経由でプッシュトークを選択します。
- 4  を選択します。

音声の送信

音声を送信する前に、zūmo デバイスを互換性のある Bluetooth ヘッドセットとペアリングするか、フィストマイクを接続する必要があります。

接続されたフィストマイクまたは互換性のある Bluetooth ヘッドセットを使用して、無線機で音声を送信できます。

注：一部の製品モデルでは、無線機アプリはアプリメニューにあります。


次の中からオプションを選択します。

- 接続されているフィストマイクの側面にあるプッシュトークボタンを押します。
- メインメニューでラジオ > プッシュトークの順に選択します。
- 接続されている Bluetooth ヘッドセットの音声ダイヤル機能を使用します (ヘッドセットでプッシュトークを有効にする, 41 ページ)。

ヒント：一時停止ボタンまたは停止ボタンを押して、無線機を手動で閉じることができます。

注：この機能を使用するには、ヘッドセット経由でプッシュトーク設定を有効にする必要があります (無線機の設定, 41 ページ)。

無線の音量の調整

- 1 ラジオ >  の順に選択します。
- 2 スライダーバーを使用して、音量を調整します。

無線機の設定

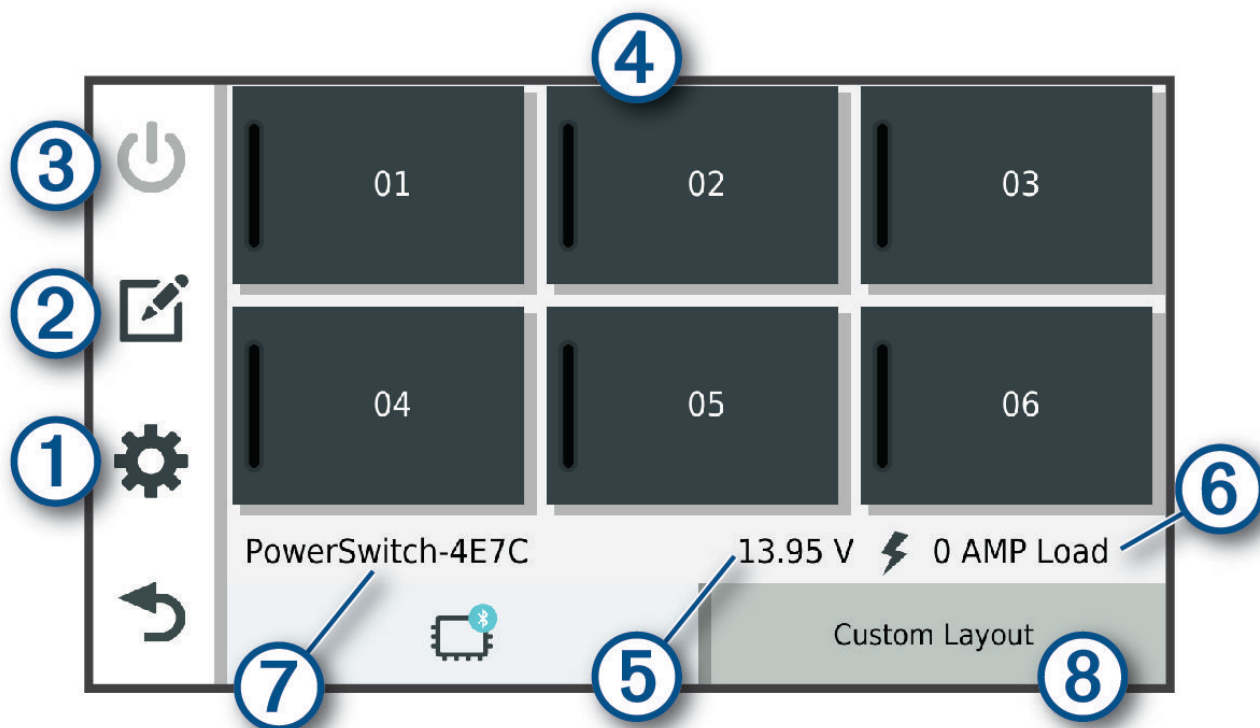
メインメニューでラジオ >  の順に選択します。

ヘッドセット経由でプッシュトーク: 互換性のあるヘッドセットのプッシュトークボタンを使用して、自分の音声を送信できます。

了解トーン: 無線機の操作時にデバイスが再生する了解トーンを設定します。

設定リセット: すべての無線機設定とプリセットを工場出荷時の初期設定値にリセットします。

Garmin PowerSwitch™アプリ



①	アプリ設定メニューを開きます
②	編集モードを開始して、アプリのレイアウトと機能をカスタマイズします
③	すべての出力をオフにします
④ 電源ボタン	接続された各出力を有効にします
⑤	入力電圧を表示します
⑥	選択した Garmin PowerSwitch デバイスの合計アンペア数を表示します
⑦	デバイス名を表示します
⑧	Garmin PowerSwitch デバイスタブとカスタムレイアウトタブを表示します

電源スイッチの有効化




Garmin PowerSwitch アプリを使用してスイッチを有効にする前に、Garmin PowerSwitch デバイスを車両に取り付けて、Garmin PowerSwitch アプリとペアリングする必要があります。

Garmin PowerSwitch アプリから電源ボタンを選択し、スイッチのオン / オフを切り替えます。

すべてのスイッチをオフにする

を選択します。


ボタンのカスタマイズ

- 1 Garmin PowerSwitch アプリ画面から、を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 2 カスタマイズするボタンで、を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ボタンの名前を変更するには、**ボタンラベルフィールド**を選択し、名前を入力します。
 - ボタンにアイコンを追加するには、**アイコンフィールド**を選択し、アイコンを選択します。
 - ボタンの色を変更するには、色を選択します。
 - ボタンモードを変更するには、ボタンモードを選択します。
 - スイッチの輝度を調整するには、スライダーを使用します。
 - 制御入力で有効にするボタンを設定するには、制御入力を選択します。
- 4 を選択します。
- 5 完了を選択します。

スイッチを制御入力へ割り当てる



制御入力機能を使用する前に、制御入力を Garmin PowerSwitch デバイスに接続する必要があります ([制御入力の接続, 64 ページ](#))。

Garmin PowerSwitch デバイスが制御入力から信号を受信したときにオンにするスイッチを 1 つ以上割り当てることができます。




- 1 を選択します。
- 2 ご使用の Garmin PowerSwitch デバイスを選択します。
- 3 制御入力を選択します。
- 4 1 つ以上のスイッチを選択します。

カスタムレイアウトの追加



Garmin PowerSwitch アプリにカスタムレイアウトタブを追加できます。カスタムレイアウトに追加したボタンは、同時に複数のスイッチを制御できます。

- 1 Garmin PowerSwitch アプリから、を選択します。
デバイスが編集モードになります。
- 2 を選択します。




カスタムレイアウトへボタンを追加する

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 **[追加] ボタン**を選択します。
- 4 新しいボタンで、 を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ボタンの名前を変更するには、**ボタンラベルフィールド**を選択し、名前を入力します。
 - ・ ボタンにアイコンを追加するには、**アイコンフィールド**を選択し、アイコンを選択します。
 - ・ ボタンの色を変更するには、色を選択します。
- 6 **アクションを追加**を選択します。
- 7 必要に応じて、Garmin PowerSwitch デバイスとスイッチを選択します。
- 8 以下のようにして、アクションを選択します。
 - ・ ボタンを押すたびにスイッチのオン / オフを切り替えるように設定するには、**切り替え**を選択します。
 - ・ スイッチをオンにするようボタンを設定するには、**オンにする**を選択します。
 - ・ スイッチをオフにするようボタンを設定するには、**オフにする**を選択します。
- 9 ボタンモードを選択します。
 - ・ ワンタッチで有効にするようボタンを設定するには、**標準**を選択します。
 - ・ ボタンにタッチしている間のみ有効にするようボタンを設定するには、**モーメンタリ**を選択します。
 - ・ ボタンを繰り返しオン / オフするように設定するには、**ストロボ**を選択し、時間間隔を選択します。
- 10 必要に応じて、スライダーを使用して照明の明るさを設定します。
- 11  を選択します。
- 12 必要に応じて、**アクションを追加**を選択して、ボタンのアクションを追加します。
Garmin PowerSwitch デバイスのスイッチごとに 1 つのアクションを追加できます。

カスタムレイアウトでのボタンの配置

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 移動するボタンで  を押したまま、ボタンを新しい場所にドラッグします。


カスタムレイアウトまたはボタンの削除

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ボタンを削除するには、削除するボタンの  を選択します。
 - ・ レイアウトタブを削除するには、レイアウトタブの  を選択します。




ルーチン

ルーチンは Garmin PowerSwitch デバイスを自動化します。互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスでルーチンを定義している場合、ルーチンの条件が満たされると、ルーチンのオン / オフが自動的に切り替わります。たとえば、毎日特定の時間になったとき、または車両が特定の速度に達したときにスイッチをオンにするルーチンを設定できます。ルーチンは、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスを使用している場合のみ使用できます。

ルーチンの追加

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、 > ルーチンの順に選択します。
- 2 必要に応じて、**ルーチンを追加**を選択します。
- 3 **タイミング**を選択します。
- 4 トリガーを選択します。
 - ・ 車両が特定の速度に達したときにトリガーするスイッチを設定するには、**速度 > 次へ**の順に選択し、画面に表示される指示に従って速度しきい値を入力します。
 - ・ 毎日特定の時刻にトリガーするようにスイッチを設定するには、**時間 > 次へ**の順に選択し、時刻を入力します。
 - ・ 日の出にトリガーするようにスイッチを設定するには、**日の出時刻**を選択します。
 - ・ 日の入りにトリガーするようにスイッチを設定するには、**日の入時刻**を選択します。
- 5 **アクションを追加**を選択します。
- 6 デバイス、スイッチ、アクション、およびボタンモードを選択します。
- 7 必要に応じて、スライダーを使用して調光器を調整します。
- 8 **保存**を選択します。

ルーチンの編集


- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、 > ルーチンの順に選択します。
- 2 編集するルーチンのを選択します。
- 3 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ ルーチンのトリガーを変更するには、**タイミング**を選択し、トリガーを選択します。
 - ・ アクションを変更するには、変更するアクションのを選択し、アクションを更新します。
 - ・ ルーチンにアクションを追加するには、**アクションを追加**を選択し、アクションに関する情報を入力します。
- 4 **保存**を選択します。

ルーチンの削除

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、 > ルーチンの順に選択します。
- 2 削除するルーチンでを選択します。

デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

- 1 **アプリ > 操作マニュアル**の順に選択します。
マニュアルはソフトウェアの言語と同じ言語で表示されます。
- 2 [] を選択してマニュアルを検索します (オプション)。


メディアプレイヤー

メディアプレイヤーでは、以下のソースから音楽またはオーディオを再生できます。

- ・ zūmo デバイスに保存されている音楽ファイル。
- ・ ペアリングされた電話からの Bluetooth オーディオ。

マップにミュージックプレイヤーツールを追加する

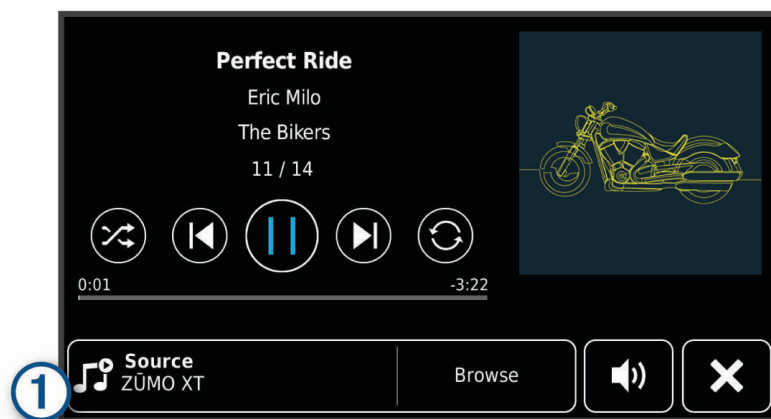
ミュージックプレイヤーマップツールを使用すると、マップからミュージックプレイヤーをコントロールできます。

- 1 マップを開きます。
- 2  > **ミュージックプレイヤー**の順に選択します。
マップにミュージックプレイヤーのコントロールが表示されます。

メディアソースを変更する

メディアの再生元のソースをデバイスで変更できます。

- 1 音楽を選択します。
- 2 現在のメディアソースを変更します ①。




- 3 リストから使用可能なメディアソースを選択します。

BirdsEye イメージ

BirdsEye イメージは、詳細な衛星イメージおよびラスターベースの地形情報を含む、ダウンロード可能な高解像度の地図イメージを提供します。デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続されている場合は、直接デバイスに BirdsEye イメージをダウンロードできます。

BirdsEye イメージのダウンロード

BirdsEye イメージを直接デバイスにダウンロードするには、事前にワイヤレスネットワークに接続しておく必要があります (Wi-Fi ネットワークへの接続, 56 ページ)。

- 1 BirdsEye Direct を選択します。
- 2  を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 特定の場所やエリアの BirdsEye イメージファイルをダウンロードするには、**位置**を選択してカテゴリーを選びます。
注：デフォルトでは、[場所] は現在いる位置になります。
 - イメージの品質オプションを選択するには、**詳細度**を選択します。
 - ダウンロードしたイメージファイルで、表示するエリアのサイズを定義するには、**サイズ**を選択し、選択した場所からの距離を入力します。
 - ダウンロードしたイメージを保存する場所を選択するには、**保存先**を選択します。
- 4 ダウンロードを選択します。
- 5 ダウンロードしたイメージの名前を入力し、完了を選択します。

トリッププランナー




トリッププランナーを使用し、トリップを作成して保存し、あとで操作することができます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したトリップを編集して、場所の並べ替え、経由地の順序の最適化、アトラクションの提案の追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。トリッププランナーを使用して、アクティブルートを編集し保存することもできます。

トリップを計画する

1 回のトリップに多数の目的地を含めることができ、少なくとも出発地と 1 つの目的地は含める必要があります。出発地は、トリップの開始を計画している場所です。トリップのナビゲーションを別の場所から開始する場合、デバイスで最初に出発地に向かうオプションを選択できます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。

- 1 アプリ > ルート > 新しいトリップの順に選択します。
- 2 開始ポイント選択を選択します。
- 3 始点を指定し、選択を選択します。
- 4 目的地の選択を選択します。
- 5 目的地の場所を指定し、選択を選択します。
- 6 追加を選択して、その他の場所を追加します (オプション)。
- 7 必要な場所をすべて追加したら、次へ > 保存の順に選択します。
- 8 名前を入力し、完了を選択します。

トリップの場所を編集および並べ替える

- 1 アプリ > ルート > 保存されたトリップ の順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 場所を上下に移動するには、 を選択し、場所をトリップの新しい位置にドラッグします。
 - ・ 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、 を選択します。
 - ・ 場所を削除するには、 を選択します。


トリップの目的地の順序を最適化する

デバイスは、トリップの目的地の順序を自動的に最適化して、距離が短く、効率的なルートを作成します。順序を変更しても出発地と最終目的地は変更されません。

トリップを編集するときは、 > 順序の最適化を選択します。


トリップの経路にあるアトラクションの発見

トリップに追加できる興味深いアトラクションや人気のアトラクションが提案されます。

- 1 トリップの編集集中に、 > アトラクションの提案を選択します。
- 2 アトラクションを選択すると、詳細情報が表示されます。
- 3 選択を選択してアトラクションをトリップに追加します。

トリップのルート探索オプションを変更する

トリップを開始するとき、デバイスがルートを計算する方法をカスタマイズできます。

- 1 アプリ > ルート > 保存されたトリップ の順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 車両プロファイルアイコンを選択し、トリップのナビゲーション中の使用を予定している車両を選択します (オプション)。
- 4  を選択します。
- 5 トリップの計算モードを変更するには、ルート探索方法を選択します ([ルート探索方法を変更する](#), 14 ページ)。

保存されているトリップをナビゲーションする

1 アプリ > ルート > 保存されたトリップ の順に選択します。

2 保存されているトリップを選択します。

3 Go! を選択します。

4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、**開始**を選択します。

デバイスは、現在地から選択した位置へのルート进行計算し、残りのトリップ目的地に順番に案内します。

ルートを共有する

他の zūmo デバイスとルートを共有できます。

1 アプリ > ルートを共有の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- Garmin Drive を使用してルートを共有するには、**Garmin Drive™**を選択します。
- Bluetooth 接続を使用してルートを共有するには、**ブルートゥース**を選択します。
- ルートを microSD カードにコピーするには、**メモ리카ード**を選択します。

3 ルートを選択します。

4 完了を選択します。

5 zūmo デバイスの画面の指示に従って、共有の処理を完了します。

トラック

トラックとは、パスの記録です。トラックログには、時刻、場所、高度情報など、記録されたパスについての情報が含まれています。

トラックの記録

トラックリングはパスを記録します。トラックリングを開始すると、デバイスは位置を記録し、トラックラインを更新します。デバイスが Garmin Explore アカウントとペアリングされている場合、デバイスは記録されたトラックをアプリと定期的に同期します。

1 メイン画面で、**軌跡**を選択します。

2 **開始**を選択します。

TracBack®

最近のトラックを辿る

TracBack 機能は、移動の最近のセグメントを記録します。最近のトラックを利用して、以前の場所まで戻ることができます。

1 アプリ > TracBack の順に選択します。

地図上に最近のトラックが表示されます。

2 Go! を選択します。

最近のトラックをトリップとして保存する

最近のトラックをトリップとして保存し、あとでトリッププランナーを使用して操作することができます。(保存されているトリップをナビゲーションする, 48 ページ)

1 TracBack を選択します。

地図上に最近のトラックが表示されます。

2  > トリップとして保存の順に選択します。


3 名前を入力し、完了を選択します。

サービス履歴をログに記録する

車両がサービスまたは保守を受けるときに、日付およびオドメーターの測定値をログに記録することができます。デバイスにはサービスカテゴリーがいくつか用意されています。また、カスタムカテゴリーを追加することもできます（「[サービスカテゴリーを追加する](#), 49 ページ」）。

- 1 アプリ > サービス履歴を選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。
- 3 レコードの追加を選択します。
- 4 オドメーターの測定値を入力し、次へを選択します。
- 5 コメントを入力します（省略可）。
- 6 完了を選択します。

サービスカテゴリーを追加する

- 1 アプリ > サービス履歴を選択します。
- 2  > カテゴリーの追加の順に選択します。
- 3 カテゴリー名を入力してから、完了を選択します。

天気予報を表示する

注記

Garmin は天気予報データの正確性または適時性について責任を負いません。

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信する必要があります。デバイスを Garmin Drive アプリに接続して、天気データを受信できます（[スマートフォンとヘッドセットのペアリング](#), 33 ページ）。


- 1 アプリ > 天気 の順に選択します。
デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。
- 2 曜日を選択します。
選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1 アプリ > 天気 > 現在地の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
 - ・ お気に入りの都市を追加するには、都市の追加を選択し、都市名を入力します。

気象観測レーダーを表示する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります（[スマートフォンとヘッドセットのペアリング](#), 33 ページ）。


- 1 アプリ > 気象観測レーダーを選択します。
- 2  を選択して、レーダー地図をアニメーション化します。

気象警報を表示する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります（[スマートフォンとヘッドセットのペアリング](#), 33 ページ）。

注：この機能を利用できない地域もあります。


デバイスと共に移動中に、気象警報が地図上に表示されることがあります。また、現在地または選択した都市周辺の気象警報の地図を表示することもできます。

- 1 アプリ > 天気を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3  > 気象警報の順に選択します。

道路状況を確認する



この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります (スマートフォンとヘッドセットのペアリング, 33 ページ)。

自分の地域、自分のルート、または別の都市の道路の天候に関連する道路状況を表示できます。

- 1 **アプリ** > **天気**を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3  > **道路状況**を選択します。

往復のルートを作成する

デバイスでは、指定された出発地と距離、期間、または目的地を使用して、往復のルートを作成できます。

- 1 メインメニューで、**アプリ** > **Round Trip** を選択します。
- 2 **出発地**を選択します。
- 3 位置を選択し、**選択**を選択します。
- 4 **トリップの属性**を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 距離によりルートを計画するには、**距離の選択**を選択します。
 - ・ 時間に基づいてルートを計画するには、**期間の選択**を選択します。
 - ・ 指定された場所に基づいてルートを計画するには、**目的地の選択**を選択します。
- 6 **次へ**を選択します。
- 7 距離、期間、または目的地を入力します。
- 8 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 距離または期間を入力した場合、**完了**を選択します。
 - ・ 距離を選択した場合は、**選択**を選択します。
- 9 **方向を追加**を選択します。
- 10 方向を選択し、**次へ**を選択します。
- 11 **計算**を選択します。
- 12 オプションを選択します (複数可)。
 - ・  を選択すると、ルートに沿った高度統計が表示されます。
 - ・  を選択してルートを形成します。
 - ・ スライダーを使用して、ルートのアドベンチャーのレベルを増減させます。
- 13 ルートを選択し、**Go !**を選択します。

photoLive トラフィックカメラ

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリにデバイスを接続しておく必要があります (スマートフォンとヘッドセットのペアリング, 33 ページ)。

photoLive トラフィックカメラは、主要な道路および交差点の交通状況をライブ画像で提供します。

photoLive サービスを利用できない地域もあります。


photoLive トラフィックカメラの表示と保存

周辺のトラフィックカメラのライブ画像を表示できます。頻繁に訪れるエリアのトラフィックカメラを保存することもできます。

- 1 アプリ > photoLive の順に選択します。
- 2 触れて追加を選択します。
- 3 道路を選択します。
- 4 トラフィックカメラの場所を選択します。
カメラからのライブ画像のプレビューが、カメラの設置場所の地図の横に表示されます。画像プレビューを選択すると、フルサイズの画像を表示できます。
- 5 保存選択して、カメラを保存します (オプション)。
photoLive アプリのメイン画面にカメラのサムネイル画像プレビューが追加されます。

地図上に photoLive トラフィックカメラを表示する

photoLive 地図ツールには、進行方向のトラフィックカメラが表示されます。

- 1 地図で、 > photoLive を選択します。
通りの進行方向にある最も近いトラフィックカメラからのライブ画像が表示されます。カメラまでの距離も表示されます。カメラを通過すると、次のカメラのライブ画像がロードされます。
- 2 その通りにカメラが見つからない場合、カメラを探すを選択して、周辺のトラフィックカメラを表示または保存します (オプション)。

前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります (デバイスおよびプライバシー設定, 54 ページ)。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

アプリ > 目的地の履歴を選択します。

zūmo 設定

地図および車両設定

設定 > 地図 / 車両の順に選択します。

車両: 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します (地図レイヤーをカスタマイズする, 31 ページ)。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

次の経由地ス킵確認: ルート上の場所をスキップするときに表示される確認メッセージを設定します。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、<http://buy.garmin.com> にアクセスしてください。

- 1 設定 > 地図 / 車両 > マイマップの順に選択します。
- 2 地図を選択します。

ナビゲーション設定

設定 > ナビゲーションの順に選択します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

オフルート再計算: アクティブルートから外れた時に行う再計算の環境設定を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

有料道路: 有料道路を回避する環境設定を設定します。

通行料金: 有料道路と料金ステッカーを回避する環境設定を設定します。

注: この機能を利用できない地域もあります。

環境ゾーン: お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

GPS シミュレーター: デバイスによる GPS 信号の受信を停止し、バッテリーを節約します。

計算モードの設定

設定 > ナビゲーション > 計算モードの順に選択します。

ルート計算モードは、道路の速度データや車両の加速率に基づいています。

時間優先: 一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。

距離優先: 走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

直行: 現在地から目的地までの直線距離を計算します。

シミュレートされた場所を設定する

屋内にいる場合、または衛星信号を受信していない場合、GPS シミュレータを使用してシミュレートした場所からルートを計画することができます。

1 設定 > ナビゲーション > GPS シミュレーターを選択します。

2 メインメニューで、地図表示を選択します。

3 地図を 2 回タップして、エリアを選択します。

この位置の住所が画面の下部に表示されます。

4 位置の説明を選択します。

5 現在地変更を選択します。

Bluetooth 設定

設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

ブルートゥース: Bluetooth 無線技術を有効にします。

デバイスの検索: 周辺にある Bluetooth 搭載デバイスを検索します。

表示名: Bluetooth 無線技術で、デバイスの識別に使用されるわかりやすい名前を入力します。

Wi-Fi 設定

ワイヤレスネットワークの設定では、Wi-Fi ネットワークを管理できます。

設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

Wi-Fi: Wi-Fi 無線を有効にします。

保存済みネットワーク: 保存済みネットワークを編集または削除できます。

ネットワークを検索: 近くの Wi-Fi ネットワークを検索します ([Wi-Fi ネットワークへの接続](#), 56 ページ)。

運転者支援の設定

設定 > 安全運転支援の順に選択します。

運転者アラート: この先のゾーンや道路状況に関するアラートの有効 / 無効を切り替えることができます ([運転者への注意喚起の機能とアラート, 10 ページ](#))。

スピード超過アラート: 制限速度を超えている場合には、警告を発します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルートの幹線道路のプレビューを表示します。

休憩の計画: 長時間運転の際に、休憩をとるよう通知し、この先のサービスエリアを表示します。休憩の通知とこの先のサービスエリアの表示は、有効 / 無効を切り替えることができます。

自動事故検出: デバイスが車両事故の可能性を検出できるようにします。

事故通知: デバイスが車両事故を検出したときに通知する連絡先を設定できます。

スピードカメラ: スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

ディスプレイ設定

設定 > ディスプレイの順に選択します。

方向: ディスプレイをポートレート (縦) またはランドスケープ (横) に設定します。

注: この機能を利用できない製品モデルもあります。

デザイン: 昼または夜のカラーモードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

輝度: ディスプレイの輝度を調節できます。

ディスプレイ省電力モード: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

スクリーンショット: デバイス画面の画像を撮影できます。スクリーンショットは、デバイスの Screenshot フォルダに保存されます。

トラフィック設定

メインメニューで、設定 > トラフィックの順に選択します。

トラフィック: トラフィックを有効にします。

現在のプロバイダ: トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

サブスクリプション: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

最適なルート: 最適な代替ルートを自動的に、または要求に応じて使用できるようにします ([ルート上の交通遅延を回避する, 18 ページ](#))。

交通アラート: 交通アラートを表示する交通遅延状態の程度を設定します。

単位および時間設定

単位および時間設定ページを開くには、メインメニューで、設定 > 単位 / 時間の順に選択します。

現在の時刻: デバイスの時間を設定します。

時間表示: 表示時間に 12 時間、24 時間、または UTC を選択できます。

単位: 距離の測定に使用する単位を設定します。

位置フォーマット: 地理座標に使用する座標形式とデータを設定します。

時間を設定する

1 メインメニューから時間を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- GPS 情報を使用して自動的に時間を設定するには、**自動**を選択します。
- 時間を手動で設定するには、数字を上下にドラッグします。

言語およびキーボード設定

[言語およびキーボード設定] を開くには、メインメニューから **設定 > 言語 / キーボード** を選択します。

音声言語: 音声案内の言語を変更します。

テキスト言語: 画面上のすべてのテキストを選択した言語に設定します。

注: テキスト言語を変更しても、ユーザー入力データまたは通り名などの地図データの言語は変更されません。

キーボード言語: キーボード言語を有効にします。

デバイスおよびプライバシー設定

設定 > デバイス の順に選択します。

デバイス情報: ソフトウェアバージョン番号、ユニット ID 番号、その他の複数のソフトウェア機能についての情報を表示します。

法規: 規制のマーキングおよび情報を表示します。

EULA: エンドユーザー使用許諾契約を表示します。

注: システムソフトウェアの更新または追加地図データの購入時に、この情報が必要となります。

ソフトウェアライセンス: ソフトウェアライセンス情報を表示します。


デバイスデータの報告: デバイスの機能を向上するために匿名データを共有します。

走行履歴: 目的地の記録をデバイスに保存できます。これにより、軌跡ログを表示したり、目的地の履歴機能や myTrends™ の推奨ルートを使用できます。

リセット: 走行履歴の消去、設定のリセット、またはすべてのユーザーデータの削除を実行できます。

設定を初期化する

設定のカテゴリまたはすべての設定を工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

- 1 **設定** を選択します。
- 2 必要に応じて、設定のカテゴリを選択します。
- 3  **> リセット** の順に選択します。

デバイス情報

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

- 1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。
- 2 **デバイス > 法規** を選択します。

仕様

耐水性	IEC 60529 IPX7 ¹
動作温度範囲	-15° ~ 55°C (5° ~ 131°F)
充電温度範囲	0° ~ 45°C (32° ~ 113°F)
電源入力 (自動車用電源ケーブル、自動二輪車、または外部電源)	DC 12 ~ 24 V
電池タイプ	リチウムイオンバッテリー
バッテリー電圧範囲	3.5 ~ 4.1 V
無線周波数およびプロトコル	Wi-Fi : 2.4 GHz @ 18 dBm 最大または 5 GHz @ 15 dBm 定格 Bluetooth : 2.4 GHz @ 4 dBm 定格

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- ・ デバイスをマウントに取り付けて、マウントを車両電源に接続します。

注記

デバイスを車両電源ケーブルに直接接続しないでください。

- ・ コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。
家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの GarminAC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

地図やソフトウェアの更新

最適なナビゲーションエクスペリエンスを得るには、デバイスの地図とソフトウェアを最新の状態に維持する必要があります。

地図の更新では、デバイスで使用している地図の道路や場所に関する利用可能な最新の変更が取得できます。地図を最新の状態に保つと、デバイスで最近追加された場所を見つけて、より正確なルートを計算することができます。地図の更新は大きいため、完了に数時間かかる可能性があります。

ソフトウェア更新では、デバイスの機能と操作の変更と改善が取得できます。ソフトウェア更新は小さく、数分間で完了します。

2 つの方法を使用してデバイスを更新できます。

- ・ デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続し、デバイス上で直接更新できます (推奨)。このオプションでは、デバイスをコンピュータに接続しないでタイミングよく更新できます。
- ・ デバイスをコンピュータに接続し、Garmin Express アプリケーションを使用して更新できます (garmin.com/express)。

¹*このデバイスは水深 1 m に 30 分間耐えうる防水性能です。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

Wi-Fi ネットワークへの接続

デバイスの電源を初めてオンにすると、Wi-Fi ネットワークに接続してデバイスを登録するように求められます。設定メニューを使用して、Wi-Fi ネットワークに接続することもできます。

- 1 **設定 > ワイヤレスネットワーク**の順に選択します。
- 2 必要に応じて、**Wi-Fi** を選択して Wi-Fi 技術を有効にします。
- 3 **ネットワークを検索**を選択します。
デバイスで、近くの Wi-Fi ネットワークのリストが表示されます。
- 4 ネットワークを選択します。
- 5 必要に応じて、ネットワークのパスワードを入力し、**完了**を選択します。


デバイスがネットワークに接続し、ネットワークが保存済みネットワークのリストに追加されます。デバイスは、範囲内にあるときにこのネットワークに自動的に再接続します。

Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスが接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

- 1 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します ([Wi-Fi ネットワークへの接続, 56 ページ](#))。
Wi-Fi ネットワークに接続中に、デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新を利用できる場合は、がメインメニューの設定アイコンに表示されます。
- 2 **設定 > 更新**の順に選択します。
デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新が利用可能な場合は、**更新が利用可能ですが地図またはソフトウェアの下に表示されます**。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**を選択します。
 - ・ 地図の更新のみをインストールするには、**地図 > すべてインストール**の順に選択します。
 - ・ ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**ソフトウェア > すべてインストール**の順に選択します。
- 4 使用許諾契約を読み、**同意**を選択して使用許諾契約に同意します。
注： 使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。
- 5 付属の USB ケーブルを使用し、デバイスを外部電源に接続して、**継続**を選択します ([デバイスを充電する, 55 ページ](#))。
最良の結果を得るには、パワー出力が 1 A 以上の USB 充電器をお勧めします。スマートフォン、タブレット、またはポータブルメディアデバイス用の多くの USB 電源アダプタと互換性があります。
- 6 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

ヒント： 地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、Wi-Fi または Garmin Express を使用して地図をもう一度更新する必要があります。

製品の更新


コンピュータで、Garmin Express (www.garmin.com/express) をインストールします。

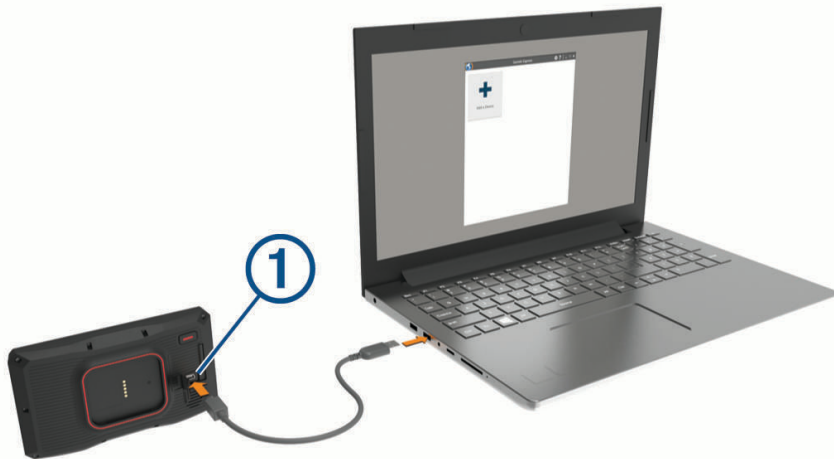
これにより、Garmin デバイス向けのこれらのサービスに簡単にアクセスできます。

- ・ ソフトウェアアップデート
- ・ 地図の更新
- ・ 製品登録

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- 1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com/express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします。
- 2  Garmin Express アプリケーションを開きます。
- 3 mini-USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
ケーブルの小さい方の端は zūmo デバイスの mini-USB ポート ① に接続し、大きい方の端はコンピュータの USB ポートに接続します。



- 4 zūmo デバイスでファイル転送モードに移行するかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、**継続**を選択します。
- 5 Garmin Express アプリケーションで、**デバイスの追加**をクリックします。
Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。
- 6 **デバイスの追加**をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。
セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。

更新を利用できます

前回の確認：たった今 

推定インストール時間：1時間-18分

[詳細の表示](#)

すべてインストール

7 次の中からオプションを選択します。

- ・ 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**をクリックします。
- ・ 特定の更新をインストールするには、**詳細の表示**をクリックし、必要な更新の横にある**インストール**をクリックします。

Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

注： 地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります ([地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する](#), 69 ページ)。

8 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。

たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

- 1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース (タッチスクリーン以外) を拭きます。
- 2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

- 1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。
- 2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。
- 3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。
- 4 力を入れずに画面を布で拭きます。

盗難防止

- ・ 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見えるところから取り外してください。
- ・ 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ・ ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。
- ・ Garmin Express ソフトウェアを使用してデバイスを登録します (garmin.com/express)。

デバイスを再起動する

デバイスが動作を停止した場合には、再起動できます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

マウントからデバイスを取り外す

- 1 マウントのつまみまたはボタンを押してすぐに離します。
- 2 デバイスの下面を上に向けて、デバイスをマウントから持ち上げます。

吸着カップからマウントを取り外す

- 1 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 2 マウントのソケットから吸着カップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きます。

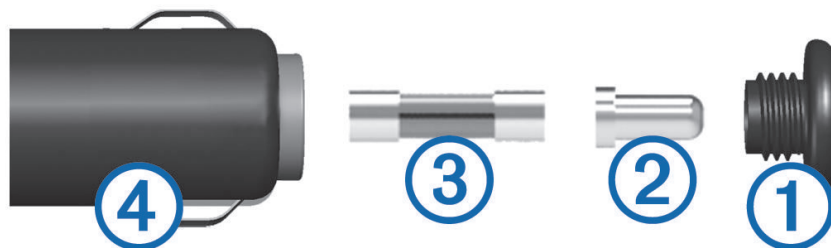
車両電源ケーブルのヒューズを交換する

注記

ヒューズを交換する場合は、小さな部品をすべてなくさないようにし、それらを正しい場所に戻してください。車両電源ケーブルを誤って取り付けると、動作しません。

車両からデバイスに充電できない場合は、車両用アダプターの先端にあるヒューズの交換が必要な場合があります。

- 1 先端①を反時計回りに回して、ロック解除します。



ヒント：先端部の取り外しには、硬貨を使用する必要がある場合があります。

- 2 先端部、銀色のチップ②、およびヒューズ③を取り外します。
- 3 1 A または 2 A など、同じ電流の新しい速断ヒューズを挿入します。
- 4 銀色のチップを先端部にはめます。
- 5 先端を押し込み、時計回りに回して、車両電源ケーブル④にロックします。

トラブルシューティング

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます (自動車にデバイスを取り付ける, 9 ページ)。

デバイスで衛星信号を受信できない

- ・ GPS シミュレーターがオフになっていることを確認します (ナビゲーション設定, 52 ページ)。
- ・ 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離してください。
- ・ 数分間静止したままにします。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- 画面の輝度を下げます (ディスプレイ設定, 53 ページ)。
- ディスプレイのタイムアウトを短くします (ディスプレイ設定, 53 ページ)。
- 音量を下げます (音量を調整する, 3 ページ)。
- 使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします (Wi-Fi 設定, 52 ページ)。
- 使用しないときは、デバイスを省電力モードにします (デバイスの電源をオンまたはオフにする, 1 ページ)。
- デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

デバイスから緊急連絡先に連絡できません

⚠ 警告

このデバイスでは、緊急連絡先にユーザーの位置情報を送信することができます。これは補助的な機能のため、本機能に依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。Garmin Drive アプリがユーザーに代わって救急医療機関等への連絡や救助の要請を行うことはありません。

緊急連絡先への連絡が行われていない場合は、以下の方法を試してください。

- zūmo ナビゲーターが、付属のマウントや USB ケーブルなどを使用して互換性のある外部電源に接続されていることを確認します。
- zūmo ナビゲーターが、Bluetooth ワイヤレス技術を使用してスマートフォンの Garmin Drive アプリに接続されていることを確認します (スマートフォンとヘッドセットのペアリング, 33 ページ)。
- スマートフォンがデータ通信を利用できる環境にあることを確認します。
- zūmo ナビゲーターで自動事故検出機能と事故通知機能が有効になっていることを確認します (運転者支援の設定, 53 ページ)。
- デバイスで緊急連絡先の設定が完了していることを確認します (事故連絡先の設定, 11 ページ)。
- 事故の連絡先として登録されている端末がテキストメッセージまたはメールを受信できることを確認してください。

デバイスがスマートフォンに接続されません

- 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
[Bluetooth] オプションを有効にする必要があります。
- スマートフォンで Bluetooth 無線の設定を有効にし、デバイスから 10m (33 ft.) 以内の範囲に電話を持てきます。
- お使いのスマートフォンが対応していることを確認します。
詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ペアリングプロセスを再度完了します。
ペアリングプロセスを繰り返すには、スマートフォンとデバイスのペアリングを解除して (Bluetooth デバイスの取り外し, 36 ページ)、ペアリングプロセスを完了する必要があります (スマートフォンとヘッドセットのペアリング, 33 ページ)。

使用しているデバイスが、コンピュータのリムーバブルデバイスとして表示されません

大半のコンピュータでは、デバイスは Media Transfer Protocol (MTP) を使用して接続されます。MTP モードでは、デバイスはリムーバブルドライブではなく、ポータブルデバイスとして表示されます。

使用しているデバイスが、コンピュータのポータブルデバイスとして表示されません

Mac®コンピュータや、一部の Windows®コンピュータでは、デバイスは USB 大容量記憶装置モードを使用して接続されます。USB 大容量記憶装置モードでは、このデバイスは、ポータブルデバイスではなく、リムーバブルドライブまたはボリュームとして表示されます。Windows のうち、Windows XP Service Pack 3 より前のバージョンでは、USB 大容量記憶装置モードを使用します。

使用しているデバイスは、コンピュータのポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、ボリュームのいずれとしても表示されません

- 1 コンピュータから USB ケーブルを取り外します。
- 2 デバイスの電源をオフにします。
- 3 USB ケーブルをデバイスおよびコンピュータの USB ポートに接続してください。

ヒント：USB ケーブルは、USB ハブではなく、コンピューターの USB ポートに接続する必要があります。

デバイスが自動的にオンになり、MTP モード、または USB 大容量記憶装置モードになります。コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

注：お使いのコンピュータで複数のネットワークドライブがマッピングされている場合、Windows が Garmin ドライブにドライブレターを割り当てる際に不具合が生じている可能性があります。ドライブレター割り当てについての詳細は、オペレーティングシステムのヘルプファイルを参照してください。

付録

Garmin PowerSwitch

警告

Garmin 装置の設置は、電気機器に関する適切な知識を持った、経験豊富な技術者が行うことを強くお勧めします。電源ケーブルの配線を誤ると、車両やバッテリーを破損し、怪我の原因になる可能性があります。

接続された Garmin PowerSwitch デバイスを使用すると、zūmo デバイスから照明、ファンなどを制御できます。

取り付けに関する注意事項

- デバイスは、バッテリーの近くでかつ付属の電源ケーブルの範囲内に取り付ける必要があります。
- 取り付け面は、デバイスの重量を支えるのに十分な強度が必要です。
- 取り付ける場所には、すべてのケーブルの配線と接続のために十分な空間が必要です。

デバイスの取り付け

デバイスを取り付ける前に取り付け位置を選択し、取り付け面に適したハードウェアを購入する必要があります。

注記

車両にパイロット穴を開け、マウントを取り付けるときには、ワイヤ、計器、エアバッグ、エアバッグカバー、HVACなどは避けてください。Garminは、取り付けによって生じた損害や結果については一切責任を負いません。

- 1 選択した場所にマウントを配置します。



- 2 マウントをテンプレートとして使用し、2箇所ネジ位置①に印を付けます。
- 3 パイロットホールを開けます (オプション)。
一部のタイプの取り付け材質では、パイロットホールをドリルで開ける必要があります。マウント越しにドリルを使わないでください。
- 4 取り付け面に適したハードウェアを使用して、マウントを表面にしっかりと固定します。

前面カバーを開く

電気接続を行うには、前面カバーを開く必要があります。

1 前面カバーラッチ ① を持ち上げ、反時計回りに回します。



2 前面カバーをデバイスから引き出します。



アクセサリーの接続

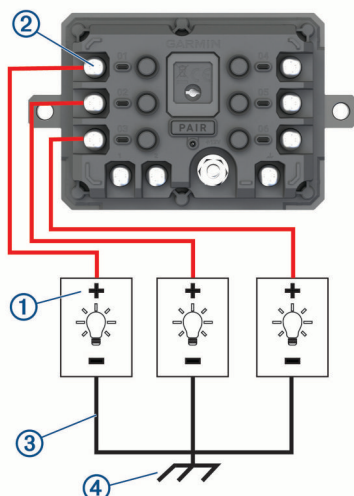
注記

ウインチの制御や電源供給にデバイスを使用しないでください。この注記に従わないと、車両またはデバイスが損傷することがあります。

電源をアクセサリー出力端子に接続しないでください。この注記に従わないと、車両またはデバイスが損傷することがあります。

アクセサリーの要件

- Garmin PowerSwitch デバイスに配線する前に、各アクセサリーの定格アンペアを確認してください。このデバイスは、各チャンネルで最大 30 A、システム全体で最大 100 A のアクセサリーに対応しています。
 - 20～30 A を使用するアクセサリーには、10 AWG (6 mm²) の配線を使用します。
 - 10～20 A を使用するアクセサリーには、12 AWG (4 mm²) の配線を使用します。
 - 10 A 未満を使用するアクセサリーには、14 AWG (2.5 mm²) の配線を使用します。
 - すべてのアクセサリー接続には適切なサイズの端子を使用します。
 - すべての端子コネクタをしっかりと圧着します。
- 1 アクセサリー ① のプラス線を Garmin PowerSwitch デバイスのアクセサリー端子 ② のいずれかに接続します。



- 2 マイナス線またはアース線 ③ を車両フレームの塗装されていないアーススタッド ④ に、アース供給ブロックに、またはバッテリーのマイナス端子に直接接続します。

△ 注意

アクセサリーアース線を Garmin PowerSwitch デバイスのアース端子 (GND) に接続しないでください。接続すると、人的損害や物的損害が発生したり、デバイスの機能に悪影響を及ぼすことがあります。

- 3 すべての電気接続がしっかりと締め付けられていることを確認し、使用中に緩まないようにしてください。

制御入力の接続

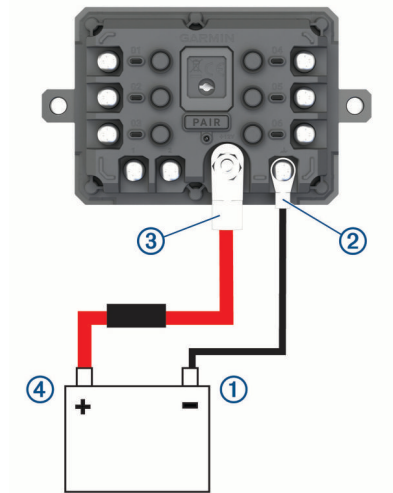
制御端末に接続して Garmin PowerSwitch デバイスを有効にすると、カスタマイズ可能な出力をオンにできます。たとえば、車両のイグニッションスイッチを制御入力端子に接続すると、車両を始動するたびにアクセサリーを自動的にオンにすることができます。制御端子は、3.3 V～18 V の信号を検出します。Garmin PowerSwitch アプリを使用して出力機能を構成できます。

車両の制御ソースからの制御線を Garmin PowerSwitch デバイスの 2 つの制御端子のいずれかに接続します。

デバイスを車両電源に接続する

デバイスを車両の電源に接続する前に、デバイスの+12V 端子から警告タグを取り外す必要があります。すべての電気接続が確実に固定され、デバイスの操作中に緩まないことを必ず確認してください。

1 同梱されているアース線 ① の大きいリング側を車両バッテリーのマイナス端子に接続します。



- 2 アース線の小さいリング側をデバイスの **GND** 端子 ② に接続します。
- 3 付属の 12V ケーブルの小さいリング側をデバイスの **+12V** 端子 ③ に接続します。
- 4 +12V 端子の $\frac{3}{8}$ in. ナットを最大トルク仕様 4.52 N-m (40 lbf-in.) で締め付けます。
ナットは手で緩めることができないことを確認する必要があります。

注記

端子の損傷を防ぐため、+12V 端子を締めすぎないでください。

5 12V ケーブル ④ の大きいリング側を車両バッテリーのプラス端子に接続します。

Garmin ナビゲーションデバイスとのペアリング

Garmin PowerSwitch デバイスを互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。

- 1 Garmin PowerSwitch デバイスの電源を入れ、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスをデバイスから 1 m (3.3 ft.) 以内に配置します。
- 2 互換性のあるナビゲーションデバイスで、Garmin PowerSwitch アプリを開きます。
- 3 画面上の指示に従って、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

Garmin PowerSwitch 仕様

寸法 (奥行き x 幅 x 高さ)	75 × 125 × 32 mm (2.95 × 4.92 × 1.26 in.)
動作温度範囲	-25° ~ 85°C (-13° ~ 185°F)
無線周波数	2.4 GHz @ 10 dBm
電源入力	付属の車両電源ケーブルを使用して 12 ~ 16 V。
最大アクセサリ出力	30 A
最大システム出力	100 A
すべての出力をオフにした状態での電流引き込み	3 mA
防水等級	IEC 60529 IPX7 ²

自分の Garmin PowerSwitch が接続したままになりません

- Garmin PowerSwitch デバイスが受電していることを確認します。
- ペアリングしたナビゲーションデバイスまたはスマートフォンで Bluetooth テクノロジーが有効になっていることを確認します。
- ナビゲーションデバイスまたはスマートフォンをご自分の Garmin PowerSwitch デバイスに近づけます。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。
供給電力が 11 V 未満の場合、車両のバッテリーを保持するため、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにします (アクセサリに電力が供給されていません, 66 ページ)。

アクセサリに電力が供給されていません

- Garmin PowerSwitch デバイスが車両バッテリーから電力を供給されていることを確認します。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。
11 V 未満の電力を受信している場合、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにして、車両のバッテリーを保持します。出力は、デバイスが 12 V を超える電力を検出するとオンに戻ります。
- 全ての電気接続が確実に固定されていることを確認し、走行中に緩むことがないようにします。
- 接続されている各アクセサリーの消費電力が 30 A 未満であることを確認します。
アクセサリーの消費電力が 30 A を超えると、デバイスはその出力を自動的にオフにします。
- システム全体の消費電力が 100 A 未満であることを確認します。
100 A を超えるシステムの消費電力を検出すると、すべての出力が自動的にオフになります。
- すべての電気接続に短絡がないか点検します。

ワイヤレスカメラ

接続された 1 台以上のワイヤレスカメラ (別売) からのビデオフィードを表示できます。

²*このデバイスは水深 1 m に 30 分間耐えうる防水性能です。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

カメラと Garmin ナビゲーションデバイスをペアリングする

互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとカメラをペアリングできます。互換性のある Garmin デバイスの詳細については、garmin.com/bc40 の製品ページを参照してください。

1 ナビゲーションデバイスを最新のソフトウェアに更新します。

デバイスは最新のソフトウェアがインストールされていない BC 40 カメラをサポートしない場合があります。ソフトウェアの更新について詳しくは、ナビゲーションデバイスのマニュアルを参照してください。

2 バッテリーをカメラに取り付けます。

カメラは自動的にペアリングモードになり、カメラがペアリングモードになっている間は LED が青色に点滅します。カメラは 2 分間ペアリングモードのままです。ペアリングモードが中断された場合は、バッテリーを取り外してから再度取り付けます。

3 互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスを車外に出し、カメラから 1.5 m (5 ft.) 以内に置き、ナビゲーションデバイスをオンにします。

カメラが自動的に検出され、ペアリングするように指示されます。

4 はいを選択します。

ヒント：ナビゲーションデバイスがカメラを自動的に検出しない場合は、**設定 > ワイヤレスカメラ > 新しいカメラの追加**の順に選択し、手動でペアリングできます。

デバイスがカメラとペアリングされます。

5 カメラの名前を入力します (オプション)。

カメラの場所を明確に特定するわかりやすい名前を使用してください。

6 完了を選択します。

ワイヤレスカメラの表示

⚠ 警告

このデバイスの目的は、適切な使用時に、状況を認識する能力を高めることです。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。注意散漫にならないように、車両が動いているときはディスプレイを注視しないようにしてください。

ホーム画面または地図から  を選択します。

ガイドラインの位置合わせ

最良の基準を得るには、車両の外端が反映されるようにガイドラインを合わせる必要があります。バックアップカメラごとに、ガイドラインを個別に合わせる必要があります。カメラの角度を変更する場合は、すぐにガイドラインを再度合わせる必要があります。

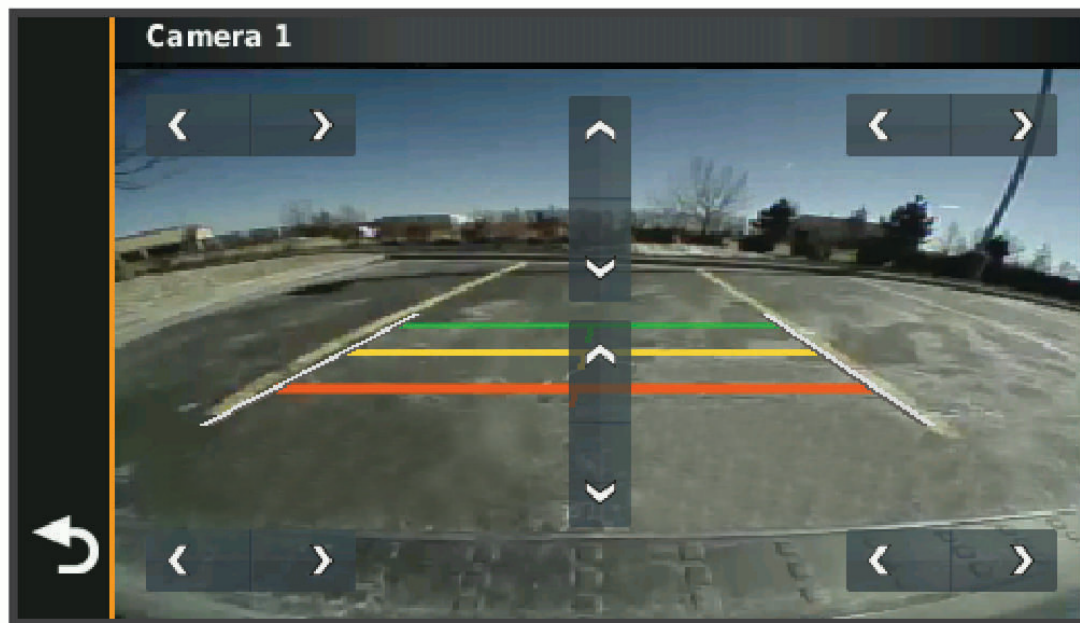
1 運転席側を縁石、私道、または駐車場の区画線に近づけて車両を配置してください。

ヒント：駐車場区画の中央に車両を配置し、次の区画まで寄せると便利です。これにより、車両後部の駐車場区画線を位置合わせの基準点として使用できます。

2 ペアリングされた Garmin ナビゲーションデバイスで、**設定 > ワイヤレスカメラ**の順に選択します。

3 ペアリングされたカメラ名を選択し、**ガイドライン > ガイドラインの調節**の順に選択します。

- 4 画面の隅にある矢印を使用して、運転席側の白いガイドラインの端を動かします。
ガイドラインは、縁石、私道、または駐車場区画線のすぐ上に表示されます。

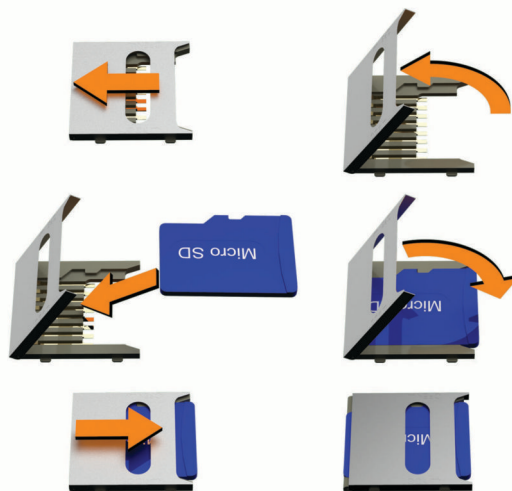


- 5 画面中央の矢印を使用して、色付きの距離ガイドラインを上下に動かします。
赤色のガイドラインは、車両の最後部と一致している必要があります。これは、リヤバンパー、トレーラーヒッチ、または車両後部から突き出ている他の物体である可能性があります。
- 6 助手席側を縁石、私道、または駐車場区画線に近づけて車両を再配置し、矢印を使用して助手席側の白いガイドラインをそろえます。
ガイドラインは対称になるようにしてください。

地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する

メモリーカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリーカードを家電量販店から購入するか、www.garmin.com/maps にアクセスして Garmin 地図ソフトウェアがあらかじめロードされているメモリーカードを購入できます。このデバイスは、4~256 GB の microSD メモリーカードに対応しています。

- 1 デバイスの地図およびデータメモリーカードスロットの場所を確認します (デバイスの概要, 1 ページ)。
- 2 microSD カードスロットからウェザーキャップを引き上げます。
- 3 microSD カードスロットカバーをデバイスの端に向かってスライドさせます。



- 4 microSD カードスロットカバーを引き上げます。
- 5 microSD カードをスロットに挿入します。
注：microSD カードがカードスロットの接点にぴったり合っていることを確認します。
- 6 SD カードカバーを閉じます。
- 7 SD カードスロットカバーをデバイスの中央に向かってスライドさせます。

データ管理

デバイスには、データストレージを追加できるメモリーカードスロットがあります。

注：このデバイスは Windows 7 以降、および Mac OS 10.7 以降に対応しています。

メモリーカードについて

家電販売店からメモリーカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。メモリーカードを使用すると、地図やカスタム POI などのファイルを保存できます。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。
- 3 zūmo デバイスでファイル転送モードに移行するかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、**はい**を選択します。

コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータから GPX ファイルを転送する

Apple コンピュータでは、このデバイスでファイルを読み書きするために、Android File Transfer などの追加のサードパーティソフトウェアが必要になる場合があります。

デバイスで使用するルートをすでに作成している場合は、GPX ファイルをコンピュータから直接転送できます。

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する, 69 ページ](#))。

デバイスはポータブルデバイスとして表示されます。

- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 GPX ファイルを選択します。
- 4 [**編集**] > [**コピー**] の順に選択します。
- 5 デバイス上の GPX フォルダを参照します。
- 6 [**編集**] > [**貼り付け**] の順に選択します。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する, 69 ページ](#))。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 [**編集**] > [**コピー**] の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。

注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。

- 6 [**編集**] > [**貼り付け**] の順に選択します。

USB ケーブルを取り外す

デバイスがリムーバブルドライブまたはボリュームとしてコンピュータに接続されている場合、データの損失を避けるため、デバイスをコンピュータから安全に取り外す必要があります。デバイスがポータブルデバイスとして Windows コンピュータに接続されている場合は、そのデバイスを安全に取り外す必要はありません。

- 1 次の手順を実行します。
 - Windows コンピュータの場合、システムトレイの [**ハードウェアの安全な取り外し**] アイコンを選択し、デバイスを選択します。
 - Apple コンピュータでデバイスを選択し、[**ファイル**] > [**取り出す**] を選択します。
- 2 コンピュータからケーブルを取り外します。

Garmin Explore への BaseCamp™データの追加

BaseCamp データファイルをエクスポートし、Garmin Explore にインポートして、zūmo デバイスで使用できます。

- 1 BaseCamp からのデータのエクスポート：
 - Apple コンピュータを使用している場合は、[Apple コンピュータを使用して BaseCamp からデータをエクスポートする, 71 ページ](#)を参照してください。
 - PC を使用している場合は、[PC を使用して BaseCamp からデータをエクスポートする, 71 ページ](#)を参照してください。
- 2 BaseCamp データを Garmin Explore ウェブサイトにインポートします ([Garmin Explore にデータをインポートする, 71 ページ](#))。
- 3 Garmin Explore データを zūmo デバイスと同期します ([Garmin Explore アカウントデータの同期, 22 ページ](#))。


PC を使用して BaseCamp からデータをエクスポートする

- 1 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ コンピュータに格納されているすべての BaseCamp データをエクスポートするには、**マイコレクションファイル > エクスポート > 'マイコレクション'のエクスポート**を選択します。
 - ・ 1 つまたは複数のアイテムまたはリストをエクスポートするには、1 つまたは複数のアイテムまたはリストを選択し、**ファイル > エクスポート > 選択範囲のエクスポート**を選択します。
- 2 名前を入力し、エクスポートするファイルのエクスポート先とファイル形式を選択し、**保存**を選択します。

Apple コンピュータを使用して BaseCamp からデータをエクスポートする

- 1 次のの中からオプションを選択します。
 - ・ コンピュータに格納されているすべての BaseCamp データをエクスポートするには、**マイコレクションファイル > 'マイコレクション'のエクスポート**を選択します。
 - ・ 1 つまたは複数のアイテムまたはリストをエクスポートするには、1 つまたは複数のアイテムまたはリストを選択し、**ファイル > 選択したユーザーデータのエクスポート**を選択します。
- 2 名前を入力します。
- 3 エクスポートされるファイルの場所を選択します。
- 4 ファイル形式を選択します。
- 5 エクスポートを選択します。

Garmin Explore にデータをインポートする

- 1 explore.garmin.com にアクセスし、アカウントにログインします。
- 2 **地図**タブを選択します。
- 3 を選択します。
- 4 画面に表示される手順に従います。

GPS 信号ステータスを表示する

 を 3 秒間押し続けます。

追加の地図を購入する

- 1 garmin.com のデバイス製品ページにアクセスします。
- 2 **地図**タブをクリックします。
- 3 画面に表示される手順に従います。

